



巻末資料

巻末 1 上位・関連計画の整理

上天草市地域公共交通計画を策定に当たり、計画の方針や取組みについて、反映すべきもの、整合を図るべきものとして、地域公共交通に関連する内容を含む、上位・関連計画の内容を整理します。

表 上位・関連計画の一覧

NO	計画名	策定年月（計画期間）
1	上天草市第2次総合計画	平成26（2014）年3月 （平成26（2014）年度～ 令和5（2023）年度）
2	第2期上天草市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2（2020）年3月 （令和2（2020）年度～ 令和6（2024）年度）
3	上天草市グランドデザイン	平成25（2013）年2月
4	第2期上天草市公立学校規模適正化基本計画	平成30（2018）年4月 （平成30（2018）年度～ 令和9（2027）年度）
5	第3期上天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画	平成30（2018）年3月 （平成30（2018）年度～ 令和4（2022）年度）
6	第3期上天草市障がい者計画	平成30（2018）年3月 （平成30（2018）年度～ 令和5（2023）年度）
7	上天草市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画	令和3（2021）年3月 （令和3（2021）年度～ 令和5（2023）年度）
8	上天草市観光ブランディング計画	平成30（2018）年7月 （平成30（2018）年度～ 令和4（2022）年度）
9	上天草市過疎地域持続的発展計画	令和3（2021）年9月 （令和3（2021）年度～ 令和7（2025）年度）
10	上天草市SDGs未来都市計画	令和4（2022）年7月
11	熊本県地域公共交通計画	令和3（2021）年3月 令和4（2022）年3月一部改訂 （令和3（2021）年度～ 令和7（2025）年度）

(1) 上天草市第2次総合計画

計画期間	平成 26 (2014) 年度～平成 35 (2023) 年度												
基本目標	子ども、若者、お年寄りが住みよい『活力』『誇り』『安心』に満ちたまちの実現												
まちづくり方針	<p>未来に向けて輝く『産業』づくり</p> <p>未来に向けて輝く『人』づくり</p> <p>未来に向けて輝く『地域』づくり</p>												
戦略シナリオ	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: red;">将来像：人と海のふれあうまち ～地域資源を活かした、新しいまちの上質な価値の創造～</p> <p style="text-align: center; color: white; background-color: red;">まちづくりの基本目標：子ども、若者、お年寄りが住みよい『活力』『誇り』『安心』に満ちたまちの実現</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: red;">将来目標の人口フレーム：(H35 推計値) 25,529 人 ⇒ 29,000 人以上をめざします</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>活力 産業が活性化し成長するまち</p> <p>未来に向けて輝く『産業』づくり 地域資源を活かした産業の創出・振興と雇用増加による定住の基盤づくり</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年間市内総生産(GDP)の増加額：100億円(雇用の増加:1,300人)</p> </td> <td style="width: 33%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>誇り ふるさとの豊かさを守り、愛するまち</p> <p>未来に向けて輝く『人』づくり 未来を築く子どもの育成と愛郷心をもって活き活きと暮らす市民生活の実現</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年少人口数：3,058人(推計値2,518人に対する500人<20.0%>増加)</p> </td> <td style="width: 33%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>安心 ふれあい・支えあうまち</p> <p>未来に向けて輝く『地域』づくり 安心・快適な暮らしの構築と市民が誇れる美しいまちづくり</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●住みやすいと思う市民の割合(H25)57.3%⇒78.0%(社会減20.0%(800人)抑制) ●定住効果による600人増加</p> </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>最重点戦略</p> <p>1. 観光需要と観光消費を拡大する～観光ブランド力を発揮する『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年間観光入込客数74万人増加 ●年間観光消費額50億円増加</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>重点戦略</p> <p>4. 地域ぐるみで子育て・子育ちしやすいまちをつくる～未来を築く元気な「人(子ども)」づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「子育てに不安や負担を感じない」人の割合(市民意識調査)50.0%</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>重点戦略</p> <p>7. 高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる～安心・快適に暮らせる『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●住み慣れた地域で安心して生活できている高齢者の割合(市民意識調査)80.0%</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>最重点戦略</p> <p>2. 農林水産物の生産・加工商品開発・販売を拡大する～売れるブランド商品・加工品開発による『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●6次産業化による経済効果50億円増加</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>重点戦略</p> <p>5. 心身ともに健康でいきいきと暮らすまちをつくる～生涯いきいき元気の「人(市民)」づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「心身ともに健康だと思ふ」市民の割合(市民意識調査)80.0%</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>重点戦略</p> <p>8. 自然志向・健康志向の都市住民の定住を促進する～新たな定住を促進する『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●市外からの新たな転入者数240世帯(600人)</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>最重点戦略</p> <p>3. 地域の産業・企業の再生・育成により雇用を生む～地域の産業・企業の多様な可能性を創造する『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●戦略2との合算による経済効果50億円増加</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>重点戦略</p> <p>6. 多様な活動によりふるさとへの愛着と誇りを育てる～スポーツ・文化を通じた郷土を愛する『人』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●(月に複数回以上)運動・スポーツに取り組む市民の割合(市民意識調査)50.0%</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>重点戦略</p> <p>9. 自然環境を守り、美しい景観をつくる～美しい海と緑のある『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「水のきれいき(海・川・海岸)」の満足度(環境基本計画市民アンケート調査)48.0%</p> </td> </tr> </table>	<p>活力 産業が活性化し成長するまち</p> <p>未来に向けて輝く『産業』づくり 地域資源を活かした産業の創出・振興と雇用増加による定住の基盤づくり</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年間市内総生産(GDP)の増加額：100億円(雇用の増加:1,300人)</p>	<p>誇り ふるさとの豊かさを守り、愛するまち</p> <p>未来に向けて輝く『人』づくり 未来を築く子どもの育成と愛郷心をもって活き活きと暮らす市民生活の実現</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年少人口数：3,058人(推計値2,518人に対する500人<20.0%>増加)</p>	<p>安心 ふれあい・支えあうまち</p> <p>未来に向けて輝く『地域』づくり 安心・快適な暮らしの構築と市民が誇れる美しいまちづくり</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●住みやすいと思う市民の割合(H25)57.3%⇒78.0%(社会減20.0%(800人)抑制) ●定住効果による600人増加</p>	<p>最重点戦略</p> <p>1. 観光需要と観光消費を拡大する～観光ブランド力を発揮する『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年間観光入込客数74万人増加 ●年間観光消費額50億円増加</p>	<p>重点戦略</p> <p>4. 地域ぐるみで子育て・子育ちしやすいまちをつくる～未来を築く元気な「人(子ども)」づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「子育てに不安や負担を感じない」人の割合(市民意識調査)50.0%</p>	<p>重点戦略</p> <p>7. 高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる～安心・快適に暮らせる『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●住み慣れた地域で安心して生活できている高齢者の割合(市民意識調査)80.0%</p>	<p>最重点戦略</p> <p>2. 農林水産物の生産・加工商品開発・販売を拡大する～売れるブランド商品・加工品開発による『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●6次産業化による経済効果50億円増加</p>	<p>重点戦略</p> <p>5. 心身ともに健康でいきいきと暮らすまちをつくる～生涯いきいき元気の「人(市民)」づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「心身ともに健康だと思ふ」市民の割合(市民意識調査)80.0%</p>	<p>重点戦略</p> <p>8. 自然志向・健康志向の都市住民の定住を促進する～新たな定住を促進する『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●市外からの新たな転入者数240世帯(600人)</p>	<p>最重点戦略</p> <p>3. 地域の産業・企業の再生・育成により雇用を生む～地域の産業・企業の多様な可能性を創造する『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●戦略2との合算による経済効果50億円増加</p>	<p>重点戦略</p> <p>6. 多様な活動によりふるさとへの愛着と誇りを育てる～スポーツ・文化を通じた郷土を愛する『人』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●(月に複数回以上)運動・スポーツに取り組む市民の割合(市民意識調査)50.0%</p>	<p>重点戦略</p> <p>9. 自然環境を守り、美しい景観をつくる～美しい海と緑のある『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「水のきれいき(海・川・海岸)」の満足度(環境基本計画市民アンケート調査)48.0%</p>
<p>活力 産業が活性化し成長するまち</p> <p>未来に向けて輝く『産業』づくり 地域資源を活かした産業の創出・振興と雇用増加による定住の基盤づくり</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年間市内総生産(GDP)の増加額：100億円(雇用の増加:1,300人)</p>	<p>誇り ふるさとの豊かさを守り、愛するまち</p> <p>未来に向けて輝く『人』づくり 未来を築く子どもの育成と愛郷心をもって活き活きと暮らす市民生活の実現</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年少人口数：3,058人(推計値2,518人に対する500人<20.0%>増加)</p>	<p>安心 ふれあい・支えあうまち</p> <p>未来に向けて輝く『地域』づくり 安心・快適な暮らしの構築と市民が誇れる美しいまちづくり</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●住みやすいと思う市民の割合(H25)57.3%⇒78.0%(社会減20.0%(800人)抑制) ●定住効果による600人増加</p>											
<p>最重点戦略</p> <p>1. 観光需要と観光消費を拡大する～観光ブランド力を発揮する『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●年間観光入込客数74万人増加 ●年間観光消費額50億円増加</p>	<p>重点戦略</p> <p>4. 地域ぐるみで子育て・子育ちしやすいまちをつくる～未来を築く元気な「人(子ども)」づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「子育てに不安や負担を感じない」人の割合(市民意識調査)50.0%</p>	<p>重点戦略</p> <p>7. 高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる～安心・快適に暮らせる『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●住み慣れた地域で安心して生活できている高齢者の割合(市民意識調査)80.0%</p>											
<p>最重点戦略</p> <p>2. 農林水産物の生産・加工商品開発・販売を拡大する～売れるブランド商品・加工品開発による『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●6次産業化による経済効果50億円増加</p>	<p>重点戦略</p> <p>5. 心身ともに健康でいきいきと暮らすまちをつくる～生涯いきいき元気の「人(市民)」づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「心身ともに健康だと思ふ」市民の割合(市民意識調査)80.0%</p>	<p>重点戦略</p> <p>8. 自然志向・健康志向の都市住民の定住を促進する～新たな定住を促進する『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●市外からの新たな転入者数240世帯(600人)</p>											
<p>最重点戦略</p> <p>3. 地域の産業・企業の再生・育成により雇用を生む～地域の産業・企業の多様な可能性を創造する『産業』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●戦略2との合算による経済効果50億円増加</p>	<p>重点戦略</p> <p>6. 多様な活動によりふるさとへの愛着と誇りを育てる～スポーツ・文化を通じた郷土を愛する『人』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●(月に複数回以上)運動・スポーツに取り組む市民の割合(市民意識調査)50.0%</p>	<p>重点戦略</p> <p>9. 自然環境を守り、美しい景観をつくる～美しい海と緑のある『地域』づくり～</p> <p>成果指標(H35年度目標値) ●「水のきれいき(海・川・海岸)」の満足度(環境基本計画市民アンケート調査)48.0%</p>											
公共交通に関する施策	<p>●後期基本計画(令和元(2019)年度～令和5(2024)年度)</p> <p>単戦略1 観光需要と観光消費を拡大する</p> <p>施策3 観光動線の利便性向上による「快適さ」の確保</p> <p style="margin-left: 20px;">1 2 利便性の高い道路交通ネットワークの充実</p> <p>○地域公共交通網の見直し</p> <p>さんばーバス停を拠点とし、主に上島地域において路線バスの運行区間や経路等を見直しを行う。併せて、各種拠点における地域公共交通相互の乗り換え情報提供や接続ダイヤの強化など、連携強化を図る。</p> <p>○地域公共交通座談会の実施</p> <p>保育園児・小学生、高齢者等を対象に、地域公共交通に対する意識啓発を目的とした座談会を実施。併せて、地域公共交通利用体験ツアーなど、地域公共交通を体験する機会を提供する。</p> <p>○地域公共交通だよりの発行</p> <p>地域公共交通に関する情報を定期的に発信し、市民の地域公共交通に対する意識啓発を目的として、地域公共交通だよりを発行する。</p>												



(2) 第2期上天草市まち・ひと・しごと創生総合戦略

<p>計画期間</p>	<p>令和2(2020)年度～令和6(2024)年度</p>
<p>基本目標</p>	<p>基本目標1 上天草市への人の流れをつくる 基本目標2 安定した魅力ある雇用を創出する 基本目標3 市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 基本目標4 魅力的な地域をつくり、安心して快適な暮らしを創出する</p>
<p>取組の方向性</p>	<p>第1期総合戦略で設定した4つの基本目標を維持しつつ、さらに推進を図るため「上天草市とつながり続ける関係人口の創出・拡大」と「市民の参画意識の醸成」を意味する「上天草市が好きになる！」を第2期総合戦略の取組の方向性に追加します。</p>
<p>公共交通に関する施策</p>	<p>5 実現に向けた施策</p> <p>(4) 上天草市に住みたくなる！</p> <p>イ 住みよいまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政、そして本市に関わる様々な人がともにまちづくりのパートナーである意識を持ちながら、地域の課題解決・目標達成に向かって知恵を出し合い、協力によるまちづくりを進めます。 ・更なる高齢化が進む中で、市民が安全・安心して快適な暮らしを送れるよう、道路交通、防災等の生活基盤の整備を図るとともに、福祉及び医療を充実し、安全・安心な社会をつくる地域の支え合いのネットワークを構築していきます。 ・個人番号カードを活用した住民サービスの展開により、安全・安心・便利な環境を提供できるよう、内容や手法の検討を始めます。 ・将来にわたり持続可能な公共交通網の整備を進めます。 <p>【具体的な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域の魅力ブラッシュアップ事業（上天草市じぶん学舎事業） ◇起業家教育を活用した地域の担い手育成事業 ◇上天草高校魅力向上事業 ◇フィルムコミッション事業 ほか

(3) 上天草市グランドデザイン

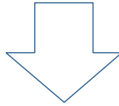
<p>策定年次</p>	<p>平成 25 (2013) 年 2 月</p>
<p>目指す将来像</p>	<p><戦略シナリオによる成果> ◎交流人口の拡大 ◎市内総生産・雇用の拡大 ◎定住人口の拡大</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>上天草市らしさのある暮らしの喜び・幸せ・誇りを感じるまち</p> <p style="background-color: #cccccc; border-radius: 10px; padding: 5px;">自然の恵みを受けられる喜び・幸せ・誇り</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・美しい自然景観と共生する環境にやさしいまち ・農産物・海産物の恵みを受け、育てるまち</p> <p style="background-color: #cccccc; border-radius: 10px; padding: 5px;">人々がふれあい・支え合い、生きがいがある喜び・幸せ・誇り</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・多彩なコミュニティのふれあい・支え合いがあるまち ・生きがいとなるチャレンジができる場があるまち</p> <p style="background-color: #cccccc; border-radius: 10px; padding: 5px;">安心して暮らせる喜び・幸せ・誇り</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・安定した働く場のあるまち ・暮らしに必要な生活基盤・都市基盤のあるまち ・福祉医療環境が整ったまち</p> </div>
<p>戦略シナリオ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>戦略シナリオ 1</p> <p>■ 地域経済の回復を優先し、「働く場」を確保することで、人口の流出を抑え、定住人口の安定と市民の活力を高める。</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>■ 上天草市のもつ強みは観光地としてのブランド力にあり、観光ブランド力を活かした観光産業の活性化を進めることで様々な地域産業への経済効果を波及させていく。</p> <p style="background-color: #ff0000; color: white; text-align: center; border-radius: 10px; padding: 5px;">観光ブランド力を活かした地域産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 訪れたい観光地としての魅力向上 ⇒ 乗客力の拡大 ● 観光客に満足感を与える観光関連産業の充実 ⇒ 収益力の拡大 ● 地域経済へ波及する観光交流の拡大 ⇒ 観光需要の拡大を市全域の産業へ循環 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">地域経済の拡大</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">官の投資財源の拡大</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">民間企業の進出</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>地域産業活性化 がもたらす成果</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">地域雇用の拡大</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">生産年齢人口の定着</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">新たな流入人口の拡大</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">成果を活かし、さらに定住人口を拡大するまちへと発展</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>戦略シナリオ 2</p> <p style="background-color: #008000; color: white; text-align: center; border-radius: 10px; padding: 5px;">上天草らしい満足感のある定住環境の充実</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">美しい自然を守り、育てる環境にやさしいまちの形成</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">高齢者にやさしい福祉環境の充実</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">利便性の高い市街地、地域拠点の形成</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">安心できる子育て環境、文化・スポーツ環境の充実</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">魅力ある住環境の形成</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">各地区の多彩な市民活動を広げる場の充実</div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">◎ 交流人口の拡大 ◎ 市内総生産・雇用の拡大 ◎ 定住人口の拡大</p> </div>
<p>公共交通に関する施策</p>	<p>戦略シナリオ 2 上天草らしい満足感のある定住環境の充実</p> <p>② 利便性の高い市街地、地域拠点の形成</p> <p><まちづくりの発展方向></p> <p>○市全体を一体的に機能させる交通手段の確保</p> <p style="padding-left: 20px;">各地域から市内主要施設へアクセスできる公共交通の利便性を確保し、市全体の拠点を有効に機能させるまちをつくります。</p>



(4) 第2期上天草市公立学校規模適正化基本計画

<p>計画期間</p>	<p>平成30(2018)年度～令和9(2027)年度</p>
<p>基本方針</p>	<p>本計画の策定においては、児童・生徒の教育環境の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をよりよく実現するために、これからの時代に求められる教育内容や指導方法の改善の方向性も十分勘案しつつ、現在の教育環境の課題について「総合的な観点」から分析を行い、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、以下の方針に基づき、学校規模の適正化に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育環境の充実について (2) 指導体制の充実について (3) 施設配置及び管理について (4) 地域コミュニティへの配慮について (5) 計画の実施について (6) 学校の名称について
<p>基本計画</p>	<p>平成30年度以降の具体的な統合計画</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 小学校の統合について <ul style="list-style-type: none"> ・維和小学校・中北小学校・中南小学校を、中南小学校に統合 ・今津小学校・教良木小学校・阿村小学校を、今津小学校に統合 (2) 中学校の統合について <ul style="list-style-type: none"> ・大矢野中学校・維和中学校・湯島中学校を、大矢野中学校に統合 <p>【小学校統合位置図】</p> <p>【中学校統合位置図】</p> <p>〔留意事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスを運行するなど、通学路の安全性の確保に関する対応を検討する必要があります。

(5) 第3期上天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画

<p>計画期間</p>	<p>平成30(2018)年度～令和4(2022)年度</p>								
<p>基本理念及び 基本目標</p>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【基本理念】</p> <p>住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまち 上天草</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">＜基本目標＞</th> <th style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">＜施策＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>1 ともに助け合い、支え合うまちづくり</p> </td> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>(1) 見守り・支え合いの仕組みづくり</p> <p>(2) 福祉意識の向上のための取組み</p> <p>(3) 福祉活動を担う人材の育成</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>2 充実した福祉サービスのまちづくり</p> </td> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>(4) 地域福祉ネットワークの構築</p> <p>(5) 地域における福祉サービスの充実</p> <p>(6) 相談体制と情報提供の充実</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>3 安心して暮らせるまちづくり</p> </td> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>(7) 災害時の安全・安心の仕組みづくり</p> <p>(8) 生活困窮者への支援</p> <p>(9) 市民一人ひとりの人権の尊重</p> <p>(10) 人にやさしいまちづくり</p> </td> </tr> </tbody> </table>	＜基本目標＞	＜施策＞	<p>1 ともに助け合い、支え合うまちづくり</p>	<p>(1) 見守り・支え合いの仕組みづくり</p> <p>(2) 福祉意識の向上のための取組み</p> <p>(3) 福祉活動を担う人材の育成</p>	<p>2 充実した福祉サービスのまちづくり</p>	<p>(4) 地域福祉ネットワークの構築</p> <p>(5) 地域における福祉サービスの充実</p> <p>(6) 相談体制と情報提供の充実</p>	<p>3 安心して暮らせるまちづくり</p>	<p>(7) 災害時の安全・安心の仕組みづくり</p> <p>(8) 生活困窮者への支援</p> <p>(9) 市民一人ひとりの人権の尊重</p> <p>(10) 人にやさしいまちづくり</p>
＜基本目標＞	＜施策＞								
<p>1 ともに助け合い、支え合うまちづくり</p>	<p>(1) 見守り・支え合いの仕組みづくり</p> <p>(2) 福祉意識の向上のための取組み</p> <p>(3) 福祉活動を担う人材の育成</p>								
<p>2 充実した福祉サービスのまちづくり</p>	<p>(4) 地域福祉ネットワークの構築</p> <p>(5) 地域における福祉サービスの充実</p> <p>(6) 相談体制と情報提供の充実</p>								
<p>3 安心して暮らせるまちづくり</p>	<p>(7) 災害時の安全・安心の仕組みづくり</p> <p>(8) 生活困窮者への支援</p> <p>(9) 市民一人ひとりの人権の尊重</p> <p>(10) 人にやさしいまちづくり</p>								
<p>公共交通に関する施策</p>	<p>第4章 地域福祉計画（施策の展開）</p> <p>【基本目標3】安心して暮らせるまちづくり</p> <p>(10) 人にやさしいまちづくり</p> <p>交通安全対策の充実や防犯活動の支援・促進を図るとともに、公共施設整備におけるバリアフリー化のほか、地域福祉に関わるすべての人々の連携において、高齢者や障がい者などが安全で、安心して快適に過ごせる、こころのバリアフリーを推進します。</p> <p>＜取組内容＞</p> <p>○交通環境の整備</p> <p>交通安全意識の啓発を図るとともに、利便性の高い道路交通ネットワーク、道路環境の整備・充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通対策事業 ・乗合タクシー事業 								



(6) 第3期上天草市障がい者計画

<p>計画期間</p>	<p>平成 30 (2018) 年度～令和 5 (2023) 年度</p>																				
<p>基本理念及び 基本目標</p>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>基本理念 安心・快適な暮らしづくり</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 35%;">基本目標</th> <th style="width: 50%;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="background-color: #003366; color: white; text-align: center; vertical-align: middle;"> 基本的 視点 一人ひとりの自己実現 </td> <td style="text-align: center;">◀ 1. 障がいの理解の促進</td> <td> ○広報・啓発活動の推進 ○人権教育・福祉教育の推進 ○差別の解消・障がい者虐待の防止 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">◀ 2. 自立した生活への支援</td> <td> ○障がい福祉施策の周知及び相談支援の充実 ○障害福祉サービスの充実 ○権利擁護の推進 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="background-color: #003366; color: white; text-align: center; vertical-align: middle;"> 自立した暮らしの実現 </td> <td style="text-align: center;">◀ 3. 保健・医療の充実</td> <td> ○身近な相談支援の環境づくり ○医療費の負担軽減 ○早期発見、早期療育の推進／住民健診及び予防対策の充実 ○こころと体の健康保持 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">◀ 4. 保育・教育の充実</td> <td> ○子どもの成長過程に応じた療育相談支援体制の充実 ○障がい児の保護者への支援 ○保育・学童教育の充実 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">◀ 5. 雇用・就労の支援</td> <td> ○雇用に向けた支援の充実 ○就労意欲のある障がい者への就労の機会づくり ○障がい者の就労移行に対する支援 ○障がい者（児）の所得保障への支援 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="background-color: #003366; color: white; text-align: center; vertical-align: middle;"> 共に暮らす、共感・協働社会の実現 </td> <td style="text-align: center;">◀ 6. 生活環境の充実</td> <td> ○安全・快適な公共施設等の整備 ○公共交通機関の利便性向上 ○障がい者にやさしい生活空間の整備 ○防災・防犯ネットワークの構築 ○安心快適な暮らしづくりは市役所から </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">◀ 7. 社会参加・交流の促進</td> <td> ○地域での交流・コミュニケーションが広がる環境づくり ○ニーズに対応したスポーツ・文化活動の充実と参加促進 ○障がい者（児）の情報交換・社会参加の機会づくり </td> </tr> </tbody> </table>		基本目標	施策	基本的 視点 一人ひとりの自己実現	◀ 1. 障がいの理解の促進	○広報・啓発活動の推進 ○人権教育・福祉教育の推進 ○差別の解消・障がい者虐待の防止	◀ 2. 自立した生活への支援	○障がい福祉施策の周知及び相談支援の充実 ○障害福祉サービスの充実 ○権利擁護の推進	自立した暮らしの実現	◀ 3. 保健・医療の充実	○身近な相談支援の環境づくり ○医療費の負担軽減 ○早期発見、早期療育の推進／住民健診及び予防対策の充実 ○こころと体の健康保持	◀ 4. 保育・教育の充実	○子どもの成長過程に応じた療育相談支援体制の充実 ○障がい児の保護者への支援 ○保育・学童教育の充実	◀ 5. 雇用・就労の支援	○雇用に向けた支援の充実 ○就労意欲のある障がい者への就労の機会づくり ○障がい者の就労移行に対する支援 ○障がい者（児）の所得保障への支援	共に暮らす、共感・協働社会の実現	◀ 6. 生活環境の充実	○安全・快適な公共施設等の整備 ○公共交通機関の利便性向上 ○障がい者にやさしい生活空間の整備 ○防災・防犯ネットワークの構築 ○安心快適な暮らしづくりは市役所から	◀ 7. 社会参加・交流の促進	○地域での交流・コミュニケーションが広がる環境づくり ○ニーズに対応したスポーツ・文化活動の充実と参加促進 ○障がい者（児）の情報交換・社会参加の機会づくり
	基本目標	施策																			
基本的 視点 一人ひとりの自己実現	◀ 1. 障がいの理解の促進	○広報・啓発活動の推進 ○人権教育・福祉教育の推進 ○差別の解消・障がい者虐待の防止																			
	◀ 2. 自立した生活への支援	○障がい福祉施策の周知及び相談支援の充実 ○障害福祉サービスの充実 ○権利擁護の推進																			
自立した暮らしの実現	◀ 3. 保健・医療の充実	○身近な相談支援の環境づくり ○医療費の負担軽減 ○早期発見、早期療育の推進／住民健診及び予防対策の充実 ○こころと体の健康保持																			
	◀ 4. 保育・教育の充実	○子どもの成長過程に応じた療育相談支援体制の充実 ○障がい児の保護者への支援 ○保育・学童教育の充実																			
	◀ 5. 雇用・就労の支援	○雇用に向けた支援の充実 ○就労意欲のある障がい者への就労の機会づくり ○障がい者の就労移行に対する支援 ○障がい者（児）の所得保障への支援																			
共に暮らす、共感・協働社会の実現	◀ 6. 生活環境の充実	○安全・快適な公共施設等の整備 ○公共交通機関の利便性向上 ○障がい者にやさしい生活空間の整備 ○防災・防犯ネットワークの構築 ○安心快適な暮らしづくりは市役所から																			
	◀ 7. 社会参加・交流の促進	○地域での交流・コミュニケーションが広がる環境づくり ○ニーズに対応したスポーツ・文化活動の充実と参加促進 ○障がい者（児）の情報交換・社会参加の機会づくり																			
<p>公共交通に関する施策</p>	<p>第4章 施策の展開</p> <p>基本目標6 生活環境の充実</p> <p>【施策】</p> <p>(2) 公共交通機関の利便性向上</p> <p>①障がい者の利用ニーズにあわせた交通手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者が運営する福祉タクシーに関する情報提供 ・民間事業者の福島県タクシー事業への申請等、事業化に向けた支援 ・循環バスや乗合タクシーの運行等による交通弱者への利便性の確保 																				

(7) 上天草市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画

計画期間	令和3(2021)年度～令和5(2023)年度
基本理念	高齢者が住み慣れた地域で健康に安心して暮らせる支えあいのまち 上天草
基本目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯現役社会の実現と自立支援、健康づくりの推進 2. 認知症になっても安心して暮らせる体制の構築 3. 在宅でも安心して暮らせるための地域づくり 4. 住民の希望、地域の実情に応じた多様なサービス基盤の整備・活用 5. 介護サービスの質の確保・向上や多様な介護人材の確保・定着
施策の体系	<p style="text-align: center;">『高齢者が住み慣れた地域で健康に安心して暮らせる支えあいのまち 上天草』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯現役社会の実現と自立支援、健康づくりの推進 <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者の多様な活動の支援 2 介護予防の推進 3 多様な健康づくりの推進 4 生きがいづくりの推進 5 地域ケア会議の充実 2. 認知症になっても安心して暮らせる体制の構築 <ol style="list-style-type: none"> 1 認知症サポーターの養成及び活動活性化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認知症サポーターの養成と地域のネットワークづくり 2 認知症地域支援推進員の活動と認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認知症初期集中支援チームの設置等 (2) 相談・支援体制の充実 3 成年後見制度の利用促進に向けた取組の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高齢者の人権擁護 4 高齢者虐待防止の体制整備 3. 在宅でも安心して暮らせるための地域づくり <ol style="list-style-type: none"> 1 在宅における医療と介護の連携 2 安心して生活できる地域づくり <ol style="list-style-type: none"> (1) 相談体制の充実 (2) 介護家族への支援 (3) 見守る仕組みの充実 4. 住民の希望、地域の実情に応じた多様なサービス基盤の整備・活用 <ol style="list-style-type: none"> 1 早急な対応が必要な方への対応 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域の支えあい活動等の支援 (2) 地域人材の発掘・育成 (3) 生活支援コーディネーターの導入 2 高齢者向け住まいの確保 <ol style="list-style-type: none"> (1) 安心できる住まいの確保 (2) 住・生活環境の整備 3 高齢者の移動手段の確保 4 高齢者の防災・防犯 <ol style="list-style-type: none"> (1) 防災・防火対策の推進 (2) 交通安全・防犯対策の推進 5. 介護サービスの質の確保・向上や多様な介護人材の確保・定着 <ol style="list-style-type: none"> 1 介護サービスの質の確保・向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 円滑な制度運営のための体制整備 (2) 介護給付の適正化 (3) 保険者としての支援体制の充実 (4) 利用者本位のサービス提供の推進 (5) 状況の変化による介護サービスの提供 2 多様な介護人材の確保・定着 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域包括支援センターの体制整備 (2) 介護サービス事業所における人員確保
公共交通に関する施策	<p>第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開</p> <p>4. 住民の希望、地域の実情に応じた多様なサービス基盤の整備・活用</p> <p>3 高齢者の移動手段の確保</p> <p>上天草市第2次総合計画における戦略目標の一つ「高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる」の中に、「利便性の高い道路交通ネットワークの充実」があります。ニーズ調査の結果を見ると、前回と同様、移動手段として「自動車（自分で運転）」が52.7%と最も高く、次いで、「徒歩」の32.9%となっていますが、今後、免許返納者や、長距離の徒歩が困難になる高齢者の増加が予想されます。3番目は「自動車（人に乗せてもらう）」となっており、公共交通の利用は少ない状況です。高齢者の移動手段について、担当課や関係機関と連携を図りながら、住み慣れた地域で買い物等の日常生活を行うための移動手段確保に努めます。</p>



(8) 上天草市観光ブランディング計画

<p>計画期間</p>	<p>平成 30 (2018) 年度～令和 4 (2022) 年度</p>
<p>ブランド コンセプト</p>	<p>ナナメ上↗上天草</p> <p>○「予想の斜め上をいく」という使われ方として、「斜め上」という言葉は三省堂「今年の新語 2015」の 10 位に挙がるほど、日本語として定着しつつある。</p> <p>○上天草市の観光ブランディングとして「予想の斜め上」というコンセプトを官民一体となってアイデアを出し合い、モノ、トコロ、コト、ヒトの全てにおいて「ナナメ上」の取り組みをしていく。</p> <p>○上天草市には、「ナナメ上」なモノやコトがすでに存在しており、それらを1つのアイデンティティとしてまとめることによって、ブランド形成を促す。</p> <p>○このコンセプトには、上天草市の場所も明示しており、天草地域全体からみて上天草市が「斜め上」にあるということを知ってもらうための意味も含まれている。</p>
<p>ブランディング の展開方法</p>	
<p>公共交通に 関する施策</p>	<p>プログラム 市民及び観光事業者等とのブランドコンセプトの共有</p> <p>アクション② 地域資源の磨き上げ</p> <p>取組案：着地型旅行商品の開発</p> <p>滞在型観光を推進するため、旅行会社等と連携して着地型旅行商品の開発を行う。</p> <p>(例：農業・漁業体験、観光ガイドを活用した観光タクシーの開発など)</p> <p>取組案：1次交通及び2次交通網の利便性向上につながる取組の推進</p> <p>公共交通機関の利用促進及び公共交通機関を利用する旅行商品を開発する。</p> <p>(例：快速バス「快速あまくさ号」を活用した旅行商品開発(バス+観光施設)、公共交通機関を活用したアクセスの方法の周知強化など)</p>

(9) 上天草市過疎地域持続的発展計画

計画期間	令和3(2021)年度～令和7(2025)年度
基本方針	<p>(ア) 活力ある産業づくり</p> <p>(イ) 安心・快適な生活環境づくり</p> <p>(ウ) 機能的な社会基盤づくり</p> <p>(エ) 環境と共生のまちづくり</p>
方針	<p>5 交通施設の整備、交通手段の確保</p> <p>当市の公共交通については、平成30年3月に、市民や観光客の利便性向上また高齢化や過疎化等の地域の実情を考慮し、持続可能な生活交通体系の創出を目的とした「上天草市地域公共交通網形成計画」を策定し、生活交通の効率的な運行に向けて取り組んでおり、引き続き適切に運行を実施していく。そのほか、航路(船舶及び航空機)については、関係事業者と調整・協議しながら、運航の継続に努める。</p>
公共交通に関する施策	<p>陸上交通について、路線バスの運行については、上天草市地域公共交通網形成計画に基づき、利便性の向上及び利用促進のため、行政、市民、運行事業者等が一体となって取り組み、利用状況等に応じて運行形態の見直しを行う。デマンド型乗合タクシーについては、運行における効率性かつ経済性に鑑み、便数、運行時刻、乗降方法等について総合的に検討を行う。</p> <p>また、今後は従来の公共交通に限らず、交通事業者の参入が難しい地域を対象とした自家用有償旅客運送や、環境の負荷が少なく従来の公共交通を補完するグリーンスローモビリティの導入等、地域の実情に応じた持続可能である新たな地域公共交通について検討を行う。</p> <p>海上交通について、離島航路は島民にとって生活及び経済活動における生命線であることから、安定的な移動手手段の確保のため、今後も運航事業者に対する支援を継続する。</p> <p>また、運航事業者の経営改善に向けて、運航事業者と協議・調整をしながら、離島航路の確保に努めていく。</p> <p>空路交通について、天草空港の利用促進に当たり、航空機の修繕等への支援を行うことで空路の維持に協力する。</p>



(10) 上天草市 SDGs 未来都市計画

<p>策定年次</p>	<p>令和 4 (2022) 年 4 月</p>
<p>今後取り組む課題</p>	<p>【経済】ア 地域資源の魅力最大化した観光地としてのブランドづくり イ 地域産業・企業の多様な可能性を創造する「産業」づくり 【社会】ア 未来を築く元気な「人（子ども）」づくり イ 安心・快適に暮らせる「地域」づくり 【環境】ア 第一次産業の振興による自然環境を保持する「地域」づくり イ 人と環境の共生と地域内での資源の循環</p>
<p>SDGs 推進のシナリオ</p>	
<p>三側面（経済・社会・環境）をつなぐ統合的取り組み</p>	

(11) 熊本県地域公共交通計画

<p>策定年次</p>	<p>令和3(2021)年3月 (令和4(2022)年3月一部改訂)</p>										
<p>基本的な方針と目標</p>	<p>5. 計画の基本的な方針</p> <p>社会動態の変容によって絶え間なく変化・多様化する県民の移動ニーズを満たす、地域公共交通施策の展開～公共交通の持つ効果の最大化に向けた輸送資源の総動員～</p> <p>計画の目標② 輸送資源の総動員によるコミュニティ交通の充実</p> <p>輸送資源が縮小する中でも多様化する県民の移動ニーズに対応するため、既存の輸送資源の活用や、複数市町村間の協働による広域コミュニティ交通の導入、新たな法制度やモビリティ技術の活用等、あらゆる選択肢の中から地域の実情に応じて適切な施策を導入できるような指針を立案し、幹線公共交通ネットワークを補充するコミュニティ交通の充実を図る。</p> <p>数値指標・目標値(目標②の達成を測る指標)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="470 622 925 698"> <p>コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進</p> <p>指標VII:コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数 ■目標値 45市町村</p> </td> <td data-bbox="981 622 1356 698"> <p>コミュニティ交通利用者数の増加</p> <p>指標VIII:コミュニティ交通の年間利用者数 ■目標値 694千人以上 (現状値 694千人)</p> </td> </tr> </table> <p>数値指標・目標値(目標①・②の達成を測る共通指標)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="470 750 973 826"> <p>公共交通に対する県民満足度の向上</p> <p>指標IX:県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度 ■目標値 25.0%以上 (現状値 -)</p> </td> </tr> </table>	<p>コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進</p> <p>指標VII:コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数 ■目標値 45市町村</p>	<p>コミュニティ交通利用者数の増加</p> <p>指標VIII:コミュニティ交通の年間利用者数 ■目標値 694千人以上 (現状値 694千人)</p>	<p>公共交通に対する県民満足度の向上</p> <p>指標IX:県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度 ■目標値 25.0%以上 (現状値 -)</p>							
<p>コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しの推進</p> <p>指標VII:コミュニティ交通施策の新規導入・サービス見直しを行った市町村数 ■目標値 45市町村</p>	<p>コミュニティ交通利用者数の増加</p> <p>指標VIII:コミュニティ交通の年間利用者数 ■目標値 694千人以上 (現状値 694千人)</p>										
<p>公共交通に対する県民満足度の向上</p> <p>指標IX:県民アンケートにおける公共交通に対する県民満足度 ■目標値 25.0%以上 (現状値 -)</p>											
<p>県が財政支援を検討する施策</p>	<p>【コミュニティ交通の充実に向けた指針】</p> <p>計画の目標である「輸送資源の総動員によるコミュニティ交通の充実」に向けて、コミュニティ交通施策の検討・実施主体である市町村が抱える課題・隘路等(図6-1)を踏まえ、施策の方向性を次のとおり定める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="427 1016 718 1059">課題・隘路</th> <th data-bbox="722 1016 1236 1059">施策の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="427 1099 718 1227">公共交通施策に対する財源不足</td> <td data-bbox="722 1066 1236 1234"> <p>方向性① 運行の効率化・ダウンサイジング</p> <p>P69～73の幹線公共交通ネットワークの考え方を踏まえつつ、バス路線の利用実態等を見極め、需給バランスの悪い路線については、運行形態の効率化や車両のダウンサイジングを図る。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1279 718 1406">地域における担い手(乗務員)不足</td> <td data-bbox="722 1240 1236 1408"> <p>方向性② 既存輸送サービスの組合せ運行</p> <p>実施主体の官民を問わず、地域で提供されている輸送サービスを洗い出し、可能なものについてはサービスの連携や統合等を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1458 718 1585">コミュニティ交通導入による利便性の低下</td> <td data-bbox="722 1415 1236 1583"> <p>方向性③ 新技術・新制度の活用</p> <p>AIシステムや自動運転技術等によるきめ細かなサービスの提供や、交通モード間をまたいだわかりやすい運賃設定等により、利便性の向上を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1637 718 1765">自治体内の人材・ノウハウ不足</td> <td data-bbox="722 1590 1236 1758"> <p>方向性④ 研修機会等の充実</p> <p>「熊本県地域公共交通担当者研修会」の内容(質・量)の拡充により、市町村や交通事業者担当者を対象とした研修機会の充実を図る。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: red;">①～③の方向性に沿った施策については 県の財政支援を検討</p>	課題・隘路	施策の方向性	公共交通施策に対する財源不足	<p>方向性① 運行の効率化・ダウンサイジング</p> <p>P69～73の幹線公共交通ネットワークの考え方を踏まえつつ、バス路線の利用実態等を見極め、需給バランスの悪い路線については、運行形態の効率化や車両のダウンサイジングを図る。</p>	地域における担い手(乗務員)不足	<p>方向性② 既存輸送サービスの組合せ運行</p> <p>実施主体の官民を問わず、地域で提供されている輸送サービスを洗い出し、可能なものについてはサービスの連携や統合等を図る。</p>	コミュニティ交通導入による利便性の低下	<p>方向性③ 新技術・新制度の活用</p> <p>AIシステムや自動運転技術等によるきめ細かなサービスの提供や、交通モード間をまたいだわかりやすい運賃設定等により、利便性の向上を図る。</p>	自治体内の人材・ノウハウ不足	<p>方向性④ 研修機会等の充実</p> <p>「熊本県地域公共交通担当者研修会」の内容(質・量)の拡充により、市町村や交通事業者担当者を対象とした研修機会の充実を図る。</p>
課題・隘路	施策の方向性										
公共交通施策に対する財源不足	<p>方向性① 運行の効率化・ダウンサイジング</p> <p>P69～73の幹線公共交通ネットワークの考え方を踏まえつつ、バス路線の利用実態等を見極め、需給バランスの悪い路線については、運行形態の効率化や車両のダウンサイジングを図る。</p>										
地域における担い手(乗務員)不足	<p>方向性② 既存輸送サービスの組合せ運行</p> <p>実施主体の官民を問わず、地域で提供されている輸送サービスを洗い出し、可能なものについてはサービスの連携や統合等を図る。</p>										
コミュニティ交通導入による利便性の低下	<p>方向性③ 新技術・新制度の活用</p> <p>AIシステムや自動運転技術等によるきめ細かなサービスの提供や、交通モード間をまたいだわかりやすい運賃設定等により、利便性の向上を図る。</p>										
自治体内の人材・ノウハウ不足	<p>方向性④ 研修機会等の充実</p> <p>「熊本県地域公共交通担当者研修会」の内容(質・量)の拡充により、市町村や交通事業者担当者を対象とした研修機会の充実を図る。</p>										

卷末 2 地域の概況

(1) 地勢

本市は、熊本県の西部、有明海と八代海が接する天草地域の玄関口に位置し、天草地域に浮かぶ大矢野島、上島、そのほかの島々から構成されています。

年間を通して比較的温暖な気候であり、面積は全体で 126.94 平方キロメートル（令和 2（2020）年国勢調査）、全体的に平坦地が少ない地勢です。また、大矢野島は比較的傾斜が緩やかな丘陵地が多く、各地域を流れる河川の周辺には水田が広がっています。

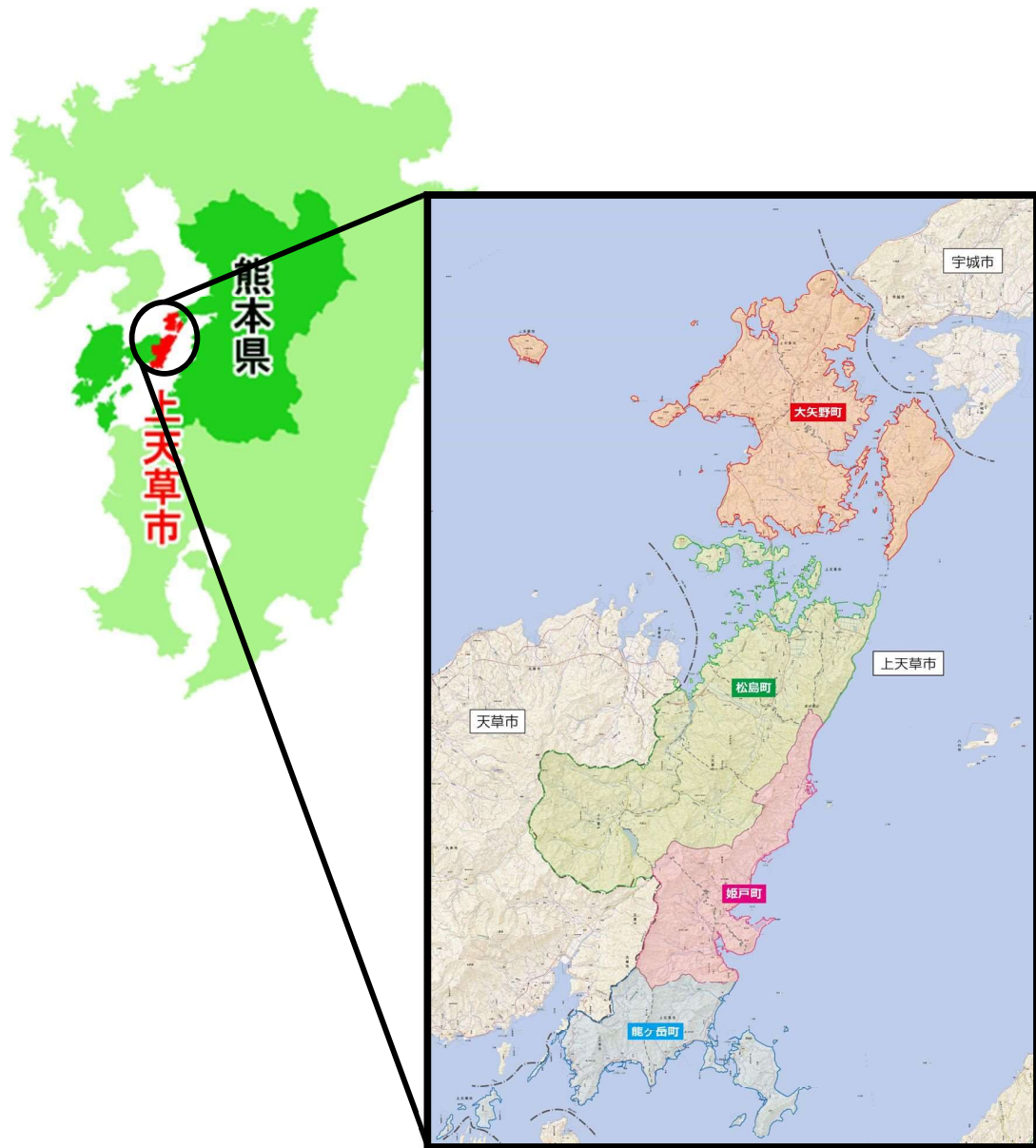


図 本市の位置

資料：上天草市ホームページ

(2) 人口・世帯

①人口と年齢3区分割合の推移

本市の総人口は昭和55（1980）年の40,682人から令和2（2020）年の24,563人と40年間に約1万6千人減少しています。また、令和7（2025）年からの将来推計を見ると今後も減少傾向が続くことが予測されています。

一方、高齢化率を見ると、昭和60（1985）年に16%に到達し、高齢社会に突入しています。その後、平成7（1995）年に23%と超高齢社会に突入し、令和2（2020）年には42%まで増加するなど、少子高齢化の進展が著しい状況となっています。

また、高齢化率が上昇する一方で、人口減少が進むことで老年人口は令和2（2020）年をピークに減少していくと予測されています。

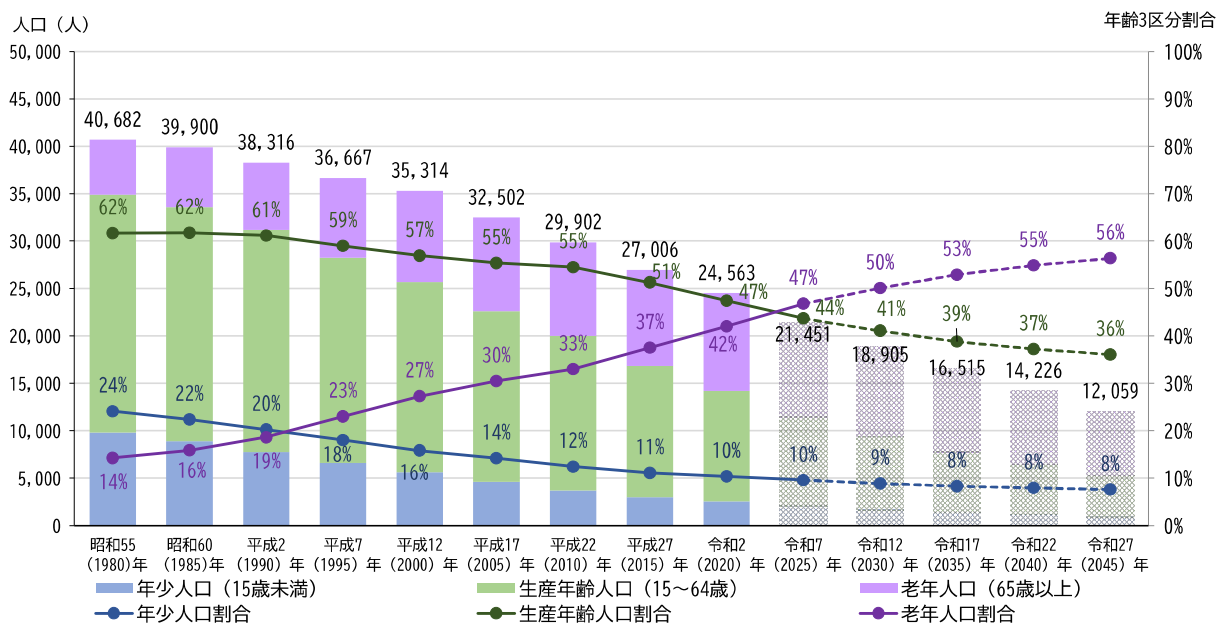


図 本市における人口と年齢3区分割合の推移

資料：国勢調査（昭和55（1980）年～令和2（2020）年）、
 国立社会保障・人口研究所 日本の地域別将来人口
 （令和7（2025）年～令和27（2045）年）

②地域別人口

令和 2（2020）年時点で大矢野町の人口は 12,686 人で、市内全体の半数以上が集中しています。次に、上島地域に位置する松島町が 6,400 人で 3 割弱、龍ヶ岳町が 3,285 人、姫戸町が 2,192 人でそれぞれ 1 割程度となっています。

また、地域別人口の変化では、各地域とも減少傾向にありますが、平成 2（1990）年に対する令和 2（2020）年の人口は、大矢野町と松島町では約 7 割に減少している一方で、姫戸町と龍ヶ岳町の人口の減少幅が大きく、半分近くにまで減少しています。

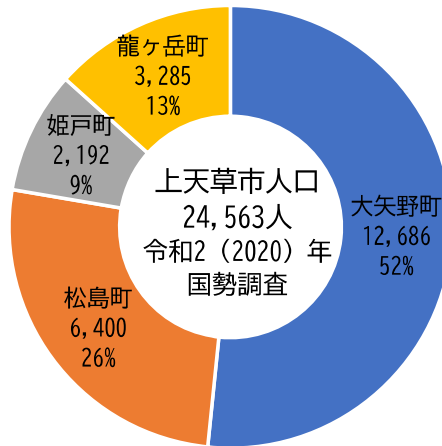


図 地域別人口割合

資料：国勢調査（令和 2（2020）年）

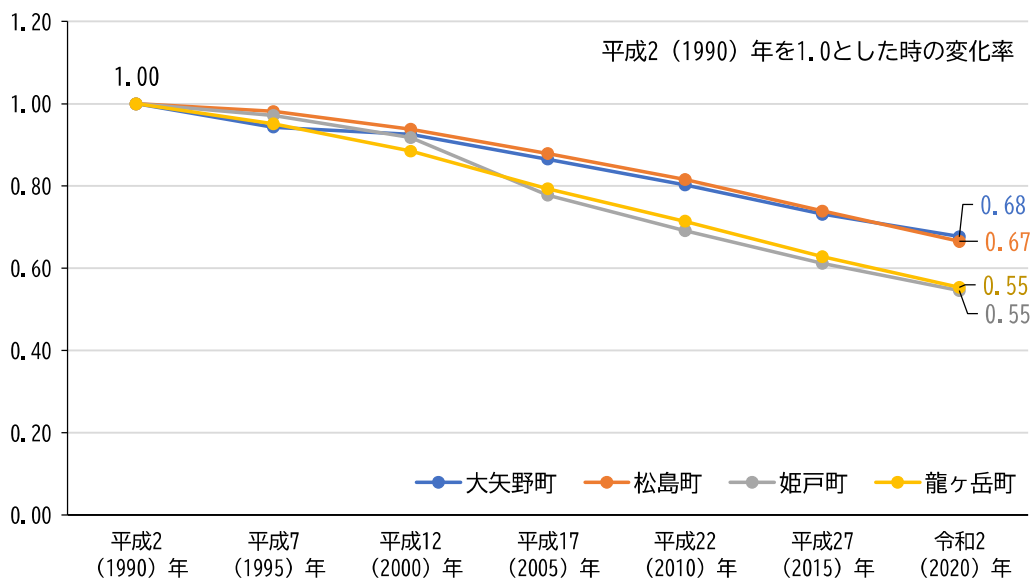


図 地域別人口変化率

資料：国勢調査（昭和 55（1980）年～令和 2（2020）年）

③人口分布

人口分布は、全体的に広く分散し分布しており、大矢野地域では中心部に人口が集中しているものの、上島地域においては海岸沿いにまばらに分布しています。

なお、路線バス沿線には比較的多くの人口が分布していますが、路線バス沿線以外では低密度な状況となっています。

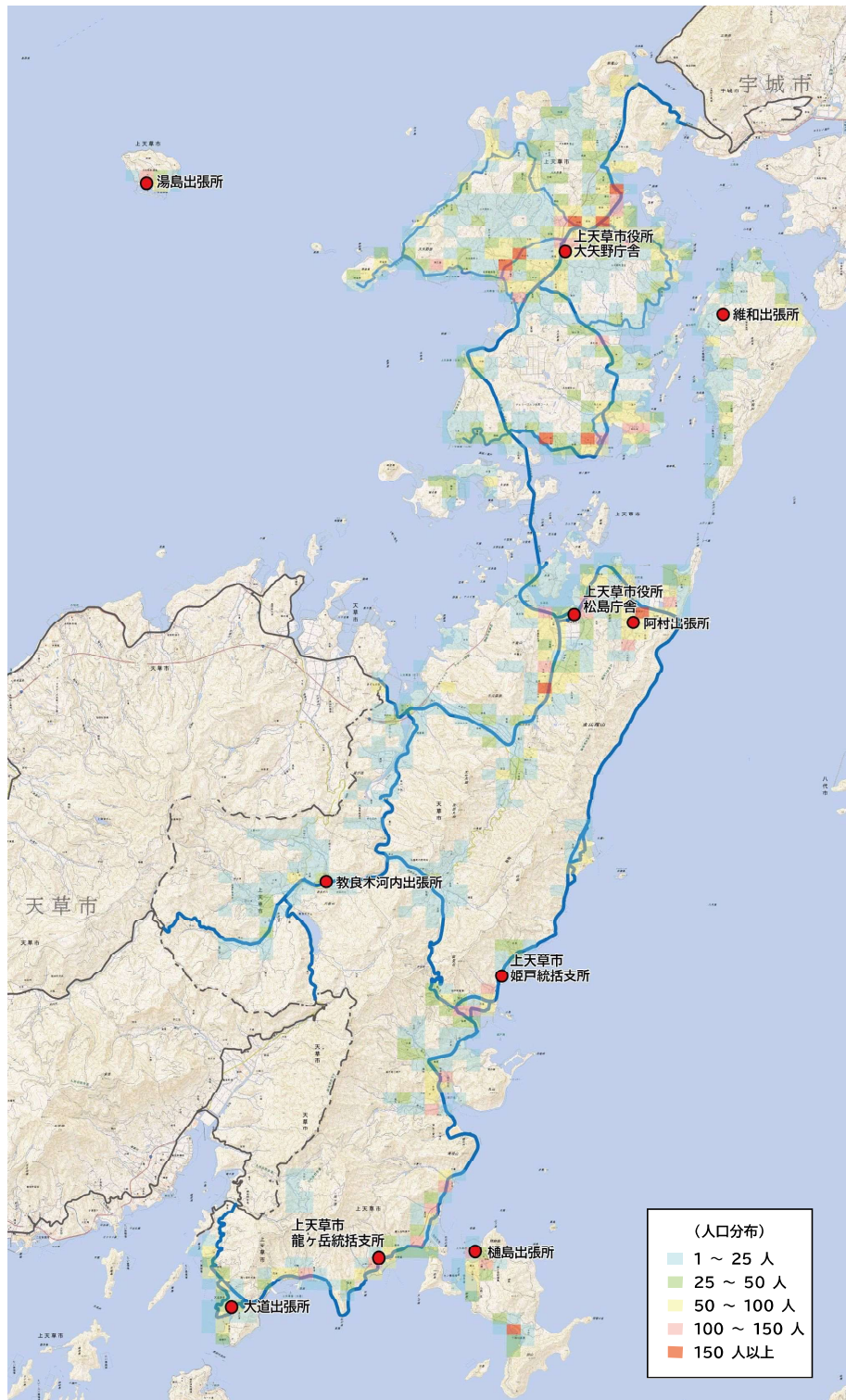


図 人口分布（250m メッシュ）

資料：国勢調査（令和 2（2020）年）

④小地域別の将来人口

小地域別の将来人口は、どの地域も減少することが予測されています。

最も減少率の大きい湯島では、約20年後の令和22（2040）年には、現在（令和2（2020）年）の約3割にまで減少、樋島や教良木では約4割にまで減少する予測となっています。

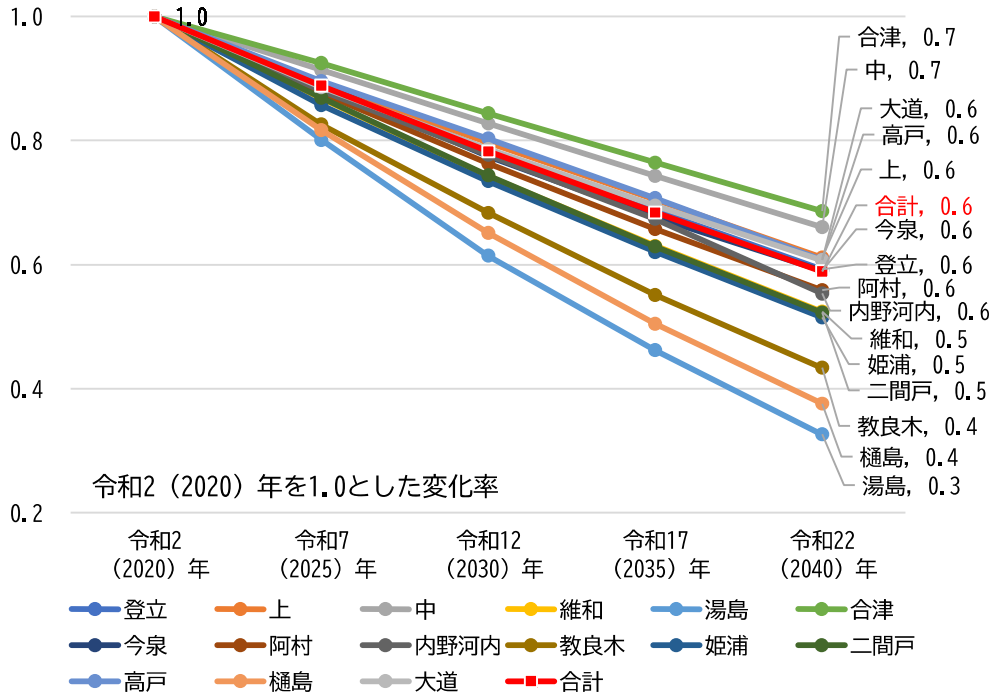
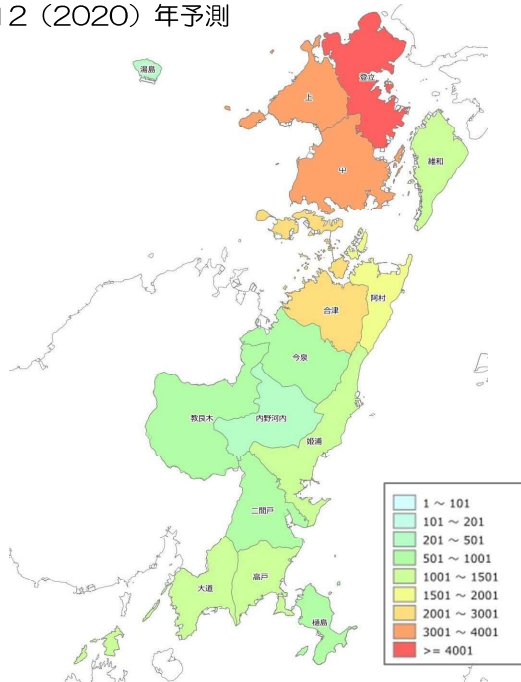


図 小地域別の将来人口変化率（コーホート要因法）

資料：将来人口・世帯予測プログラムより出力（国土技術政策総合研究所）

令和2（2020）年予測



令和22（2040）年予測

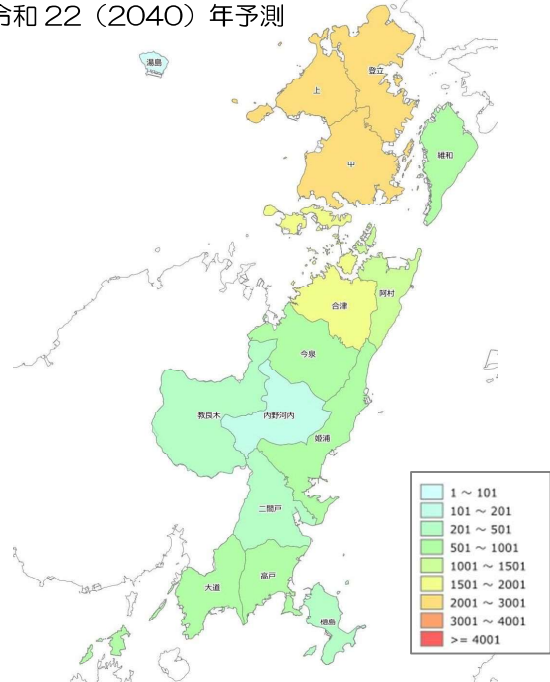


図 小地域別の将来人口（令和2（2020）年～令和22（2040）年）（コーホート要因法）

資料：将来人口・世帯予測プログラムより出力（国土技術政策総合研究所）

⑤ 世帯数の推移

世帯数は平成12(2000)年の11,576世帯から令和2(2020)年の10,001世帯と微減傾向となっています。一方で、65歳以上の単身世帯数は増加傾向にあり、全世帯に占める65歳以上の単身世帯数割合は令和2(2020)年で約2割を占め、5世帯に1世帯は65歳以上の単身世帯となっています。

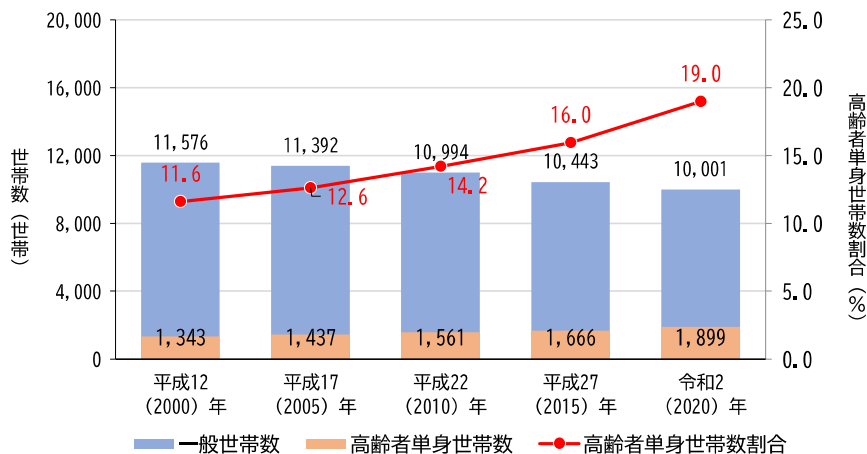


図 本市における世帯数と高齢者単身世帯数と割合の推移

資料：国勢調査（平成12(2000)年～令和2(2020)年）

⑥ 世帯数分布

世帯数分布も人口分布と同様に広域に分布しており、大矢野町では人口と同様に世帯数も多い傾向にあります。また、世帯数の多いエリアで高齢者単身世帯数も多い傾向となっています。



図 世帯数分布 (250mメッシュ)



図 高齢者単身世帯数分布 (250mメッシュ)

資料：国勢調査（令和2(2020)年）

(3) 施設立地状況

① 施設分布図

施設分布を見ると、大矢野町の中心部に各施設が集中していることが分かります。また、上島地域でも松島町、松島町教良木、姫戸町、龍ヶ岳町のそれぞれの中心部に施設が集中しています。

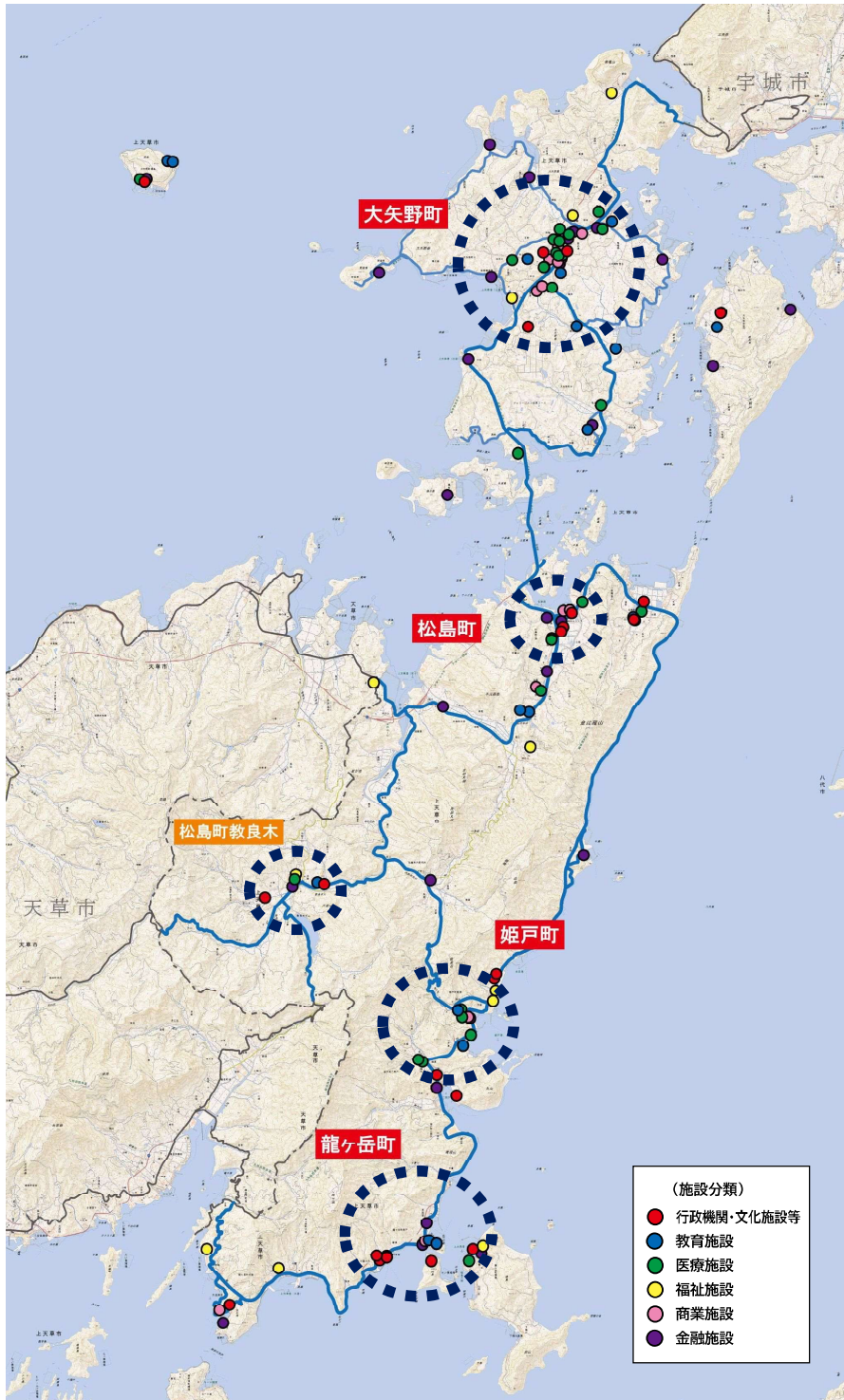


図 施設分布

資料：上天草市 HP、熊本県医療施設一覧、熊本県社会福祉協議会、
金融機関・銀行検索、日本郵政グループ

②各施設配置

【行政機関、スポーツ・文化施設等】



資料：上天草市 HP

【教育施設】



資料：上天草市 HP

【医療施設】



資料：熊本県医療施設一覧

【福祉施設】



資料：熊本県社会福祉協議会



【商業施設】



資料：iタウンページ、JA あまくさ

【金融施設】



資料：金融機関・銀行検索、日本郵政グループHP

(4) 観光動向

① 観光施設分布

観光施設分布を見ると、観光施設は全域に広く分布していることが分かります。その多くが路線バスの沿線に存在していますが、一部路線バス沿線に位置していない状況です。また、レジャー施設や自然関連の施設が多く立地しています。



図 観光施設分布

資料：上天草市 HP、上天草市総合観光パンフレット

②天草地域の観光客数

令和2（2020）年における、天草地域の入込観光客数は、熊本県全体の8%を占めています。

平成27年（2015）年からの入込観光客数の変化率を見ると、平成28（2016）年に発生した熊本地震の影響からか、熊本県全体では減少していましたが、天草地域では増加傾向にありました。

しかし、令和元（2019）年以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からか、減少傾向に転じており、令和2（2020）年は、約255万人にとどまっています。

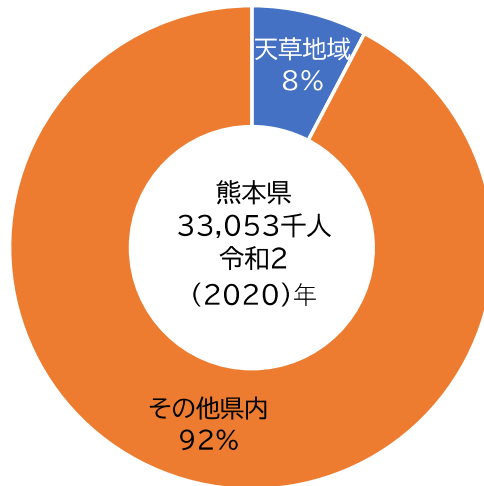


図 熊本県全体に占める観光客数の割合

資料：令和2（2020）年熊本県観光統計表（令和4年8月5日修正版）

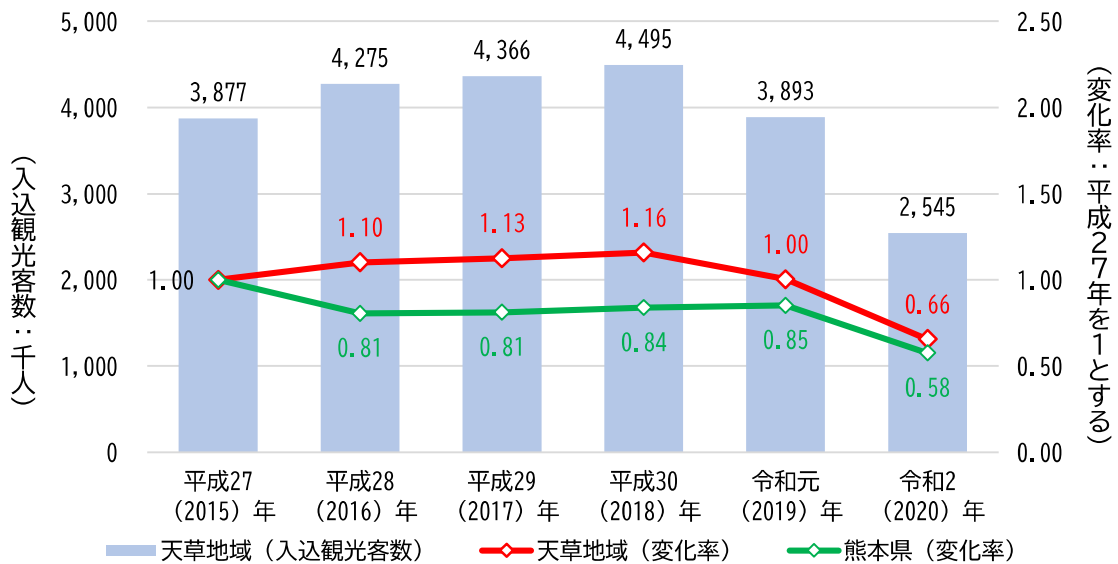


図 天草地域の観光入込客数の推移と天草地域・県全体の観光入込客数の変化率

資料：令和2（2020）年熊本県観光統計表（令和4年8月5日修正版）

③観光入込客数と宿泊客数の推移

本市における観光入込客数は、令和2（2020）年時点で約147万人となっています。うち宿泊客数は20万人程度であり、入込客数の1割程度となっています。観光入込客数は令和2（2020）年以降を除いてみると平成27（2015）年以降増加傾向ですが、宿泊客数はほぼ横ばいで推移しています。

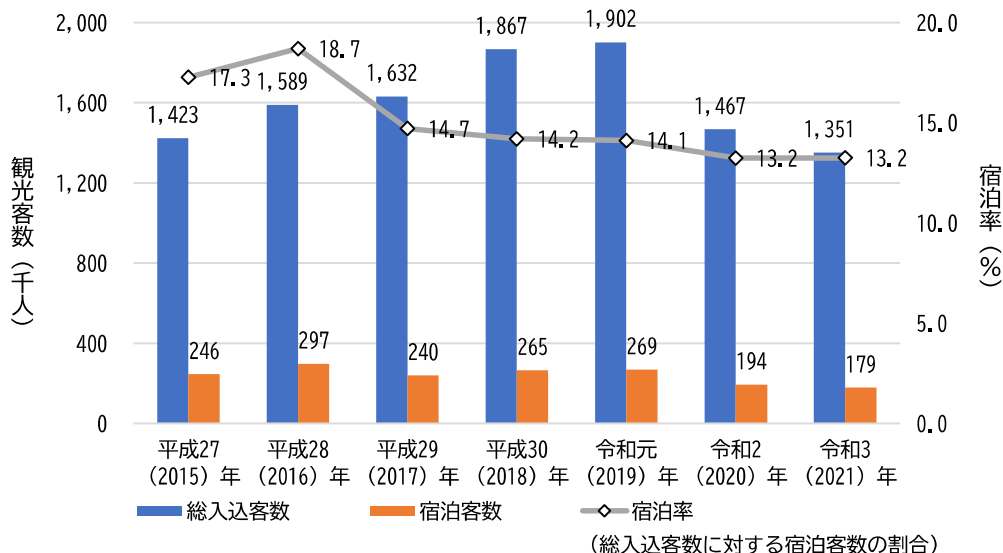


図 本市における観光入込客数及び宿泊客数の推移

資料：市資料

④インバウンド宿泊客数の推移

インバウンド宿泊客数は平成29（2017）年に大きく増加していますが、令和2（2020）年には平成30（2018）年のピーク時より9割減少、令和3（2021）年は更に減少しごくわずかとなっています。また、同様にインバウンド宿泊客率も減少しています。

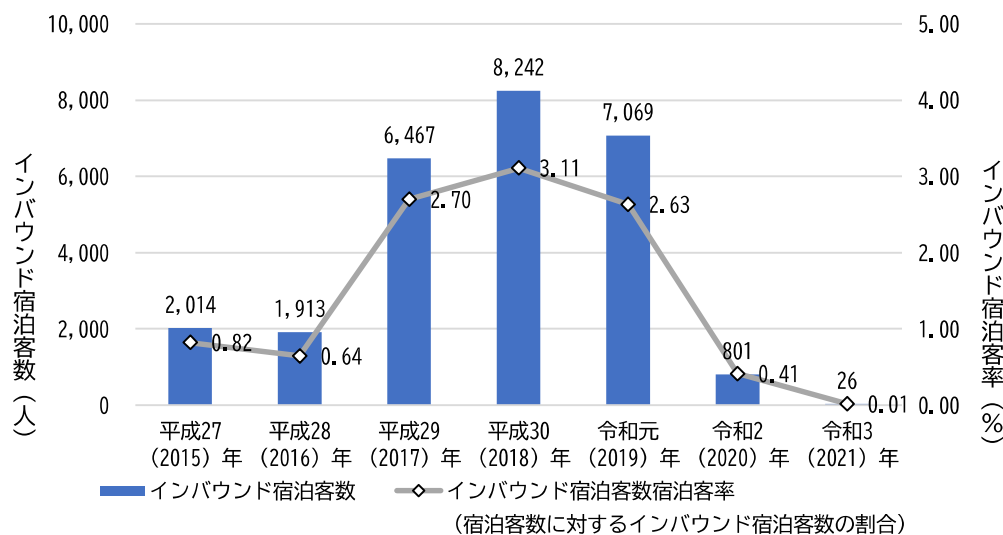


図 本市におけるインバウンド宿泊客数の推移

資料：市資料

(5) 道路交通状況

本市は、宇城市三角から国道 266 号が連絡しており、1 号橋及び大矢野バイパスでつながっています。国道 266 号は、大矢野町から 2 号橋、3 号橋、4 号橋、5 号橋で上島に連絡しており、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町を通じて、天草市方面に連絡しています。

松島町からは、国道 324 号及び松島有料道路が上島の北側を通じて、天草市方面に連絡しています。道路網のほか、三角港から松島港（前島）や龍ヶ岳町方面など、航路でもつながっています。



図 道路網図

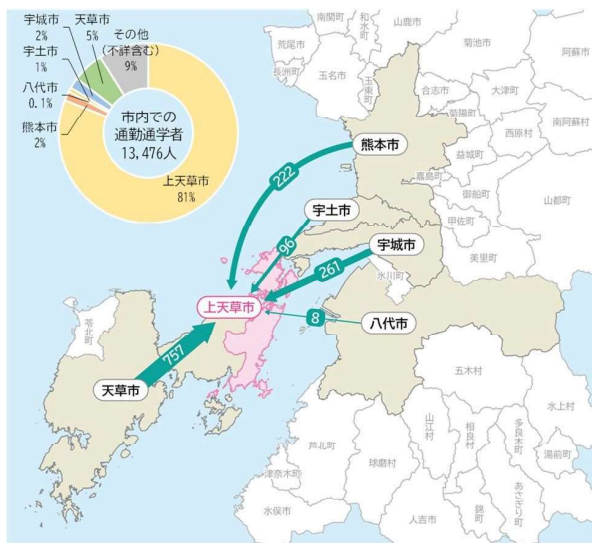
(6) 人の流れ

① 通勤通学特性

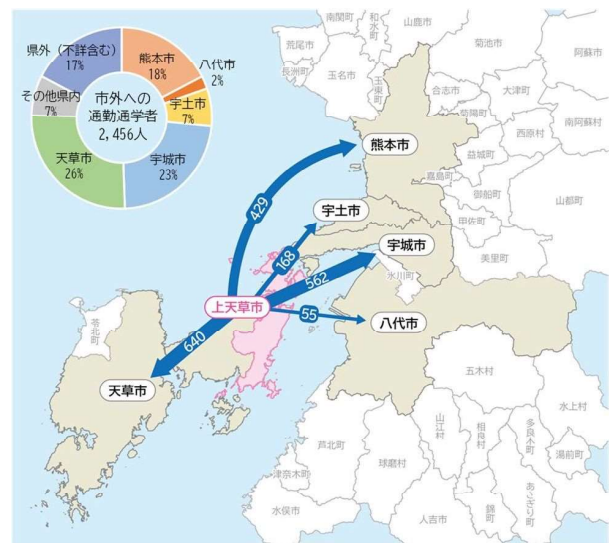
通勤通学流動を見ると、本市内での通勤・通学者のうち、約80%が本市内の在住者となっており、隣接する天草市からは725人（5%）、宇城市からは261人（2%）が流入しています。

また、本市在住者のうち、約2,456人が他市町に通勤・通学しており、天草市へ640人（26%）、宇城市へ562人（23%）など隣接する市のほか、熊本市へ429人（18%）の通勤通学が見られます。

本市在住者の通勤・通学時の利用交通手段は、自家用車が約8割を占め、乗合バスの利用は約2%とごくわずかです。



【本市での通勤通学者流動】



【市外への通勤通学流出】

図 本市における通勤通学流動

資料：国勢調査（令和2（2020）年）

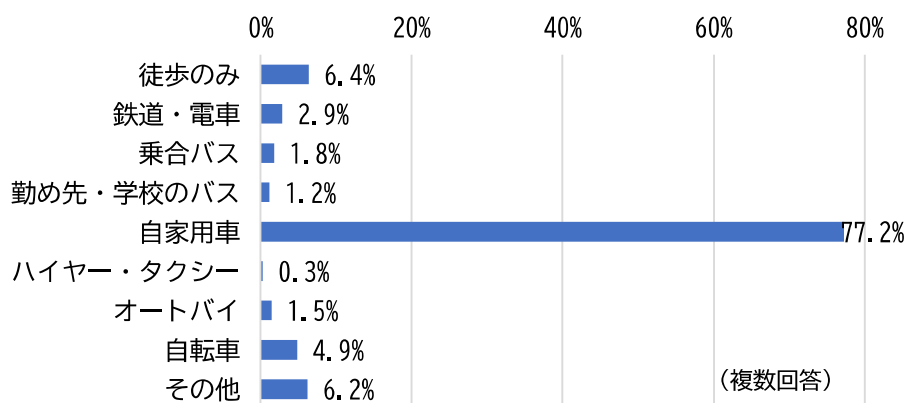


図 本市在住者の通勤通学時の利用交通手段

資料：国勢調査（令和2（2020）年）

②市内外の流動（買い物・通院）

本市では、約 9 割が市内で買い物をしていますが、天草市に 8%、宇土市 1%といった近隣市での購買行動も見られます。

通院では、市内の病院への通院が約 7 割、宇城市と天草市に約 1 割で、近隣市への流動が見られます。

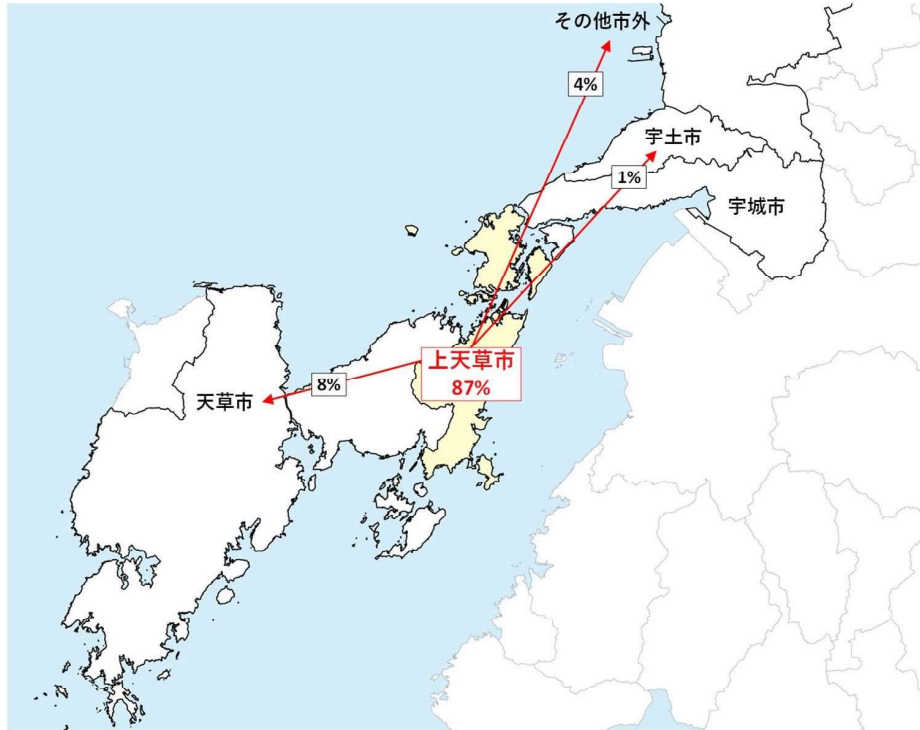


図 本市住民の買い物先

資料：住民アンケート調査結果（令和 4（2022）年）

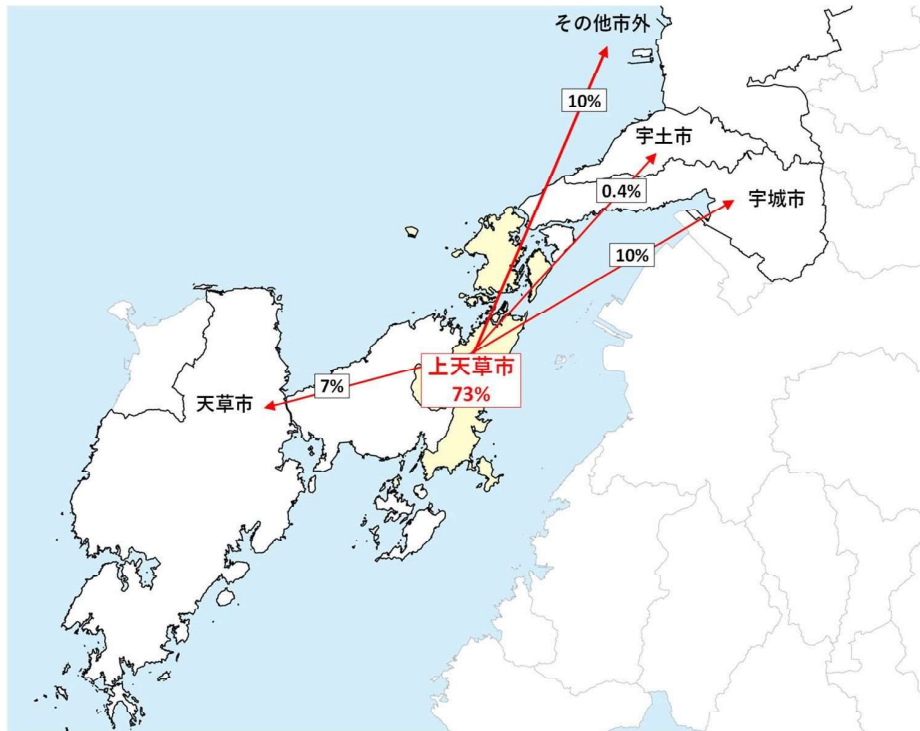


図 本市住民の通院先

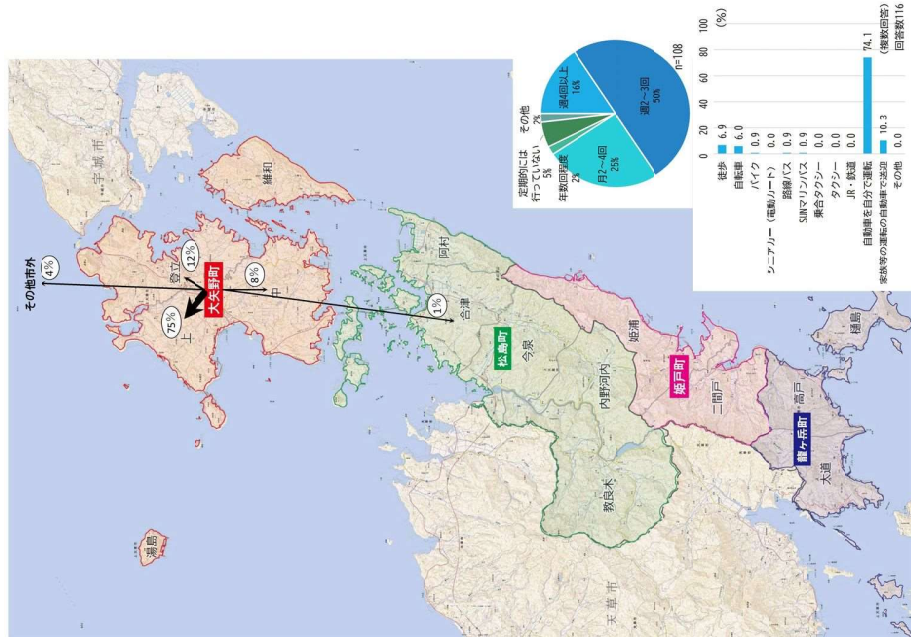
資料：住民アンケート調査結果（令和 4（2022）年）

③ 地域ごとの流動（買い物）

大矢野町、松島町では約8割が自地域内で買い物している一方で、姫戸町、龍ヶ岳町では自地域内での買い物は2割程度で、姫戸町からは松島町へ約5割、龍ヶ岳町からは天草市へ約5割の方が出かけており、市域全域から大矢野町や松島町への移動が見られます。

買い物頻度は、大矢野町、松島町に比べ、姫戸町特に龍ヶ岳町が低い傾向にあります。移動手段は、どの地域も自動車へ依存傾向にあります。

a. 大矢野町住民の買い物物特性



b. 松島町住民の買い物物特性

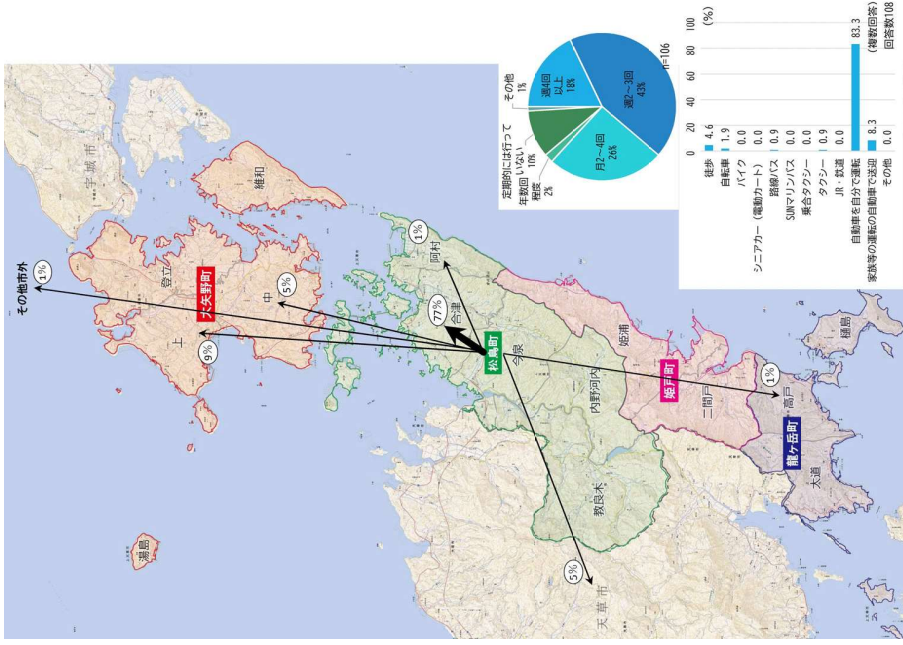
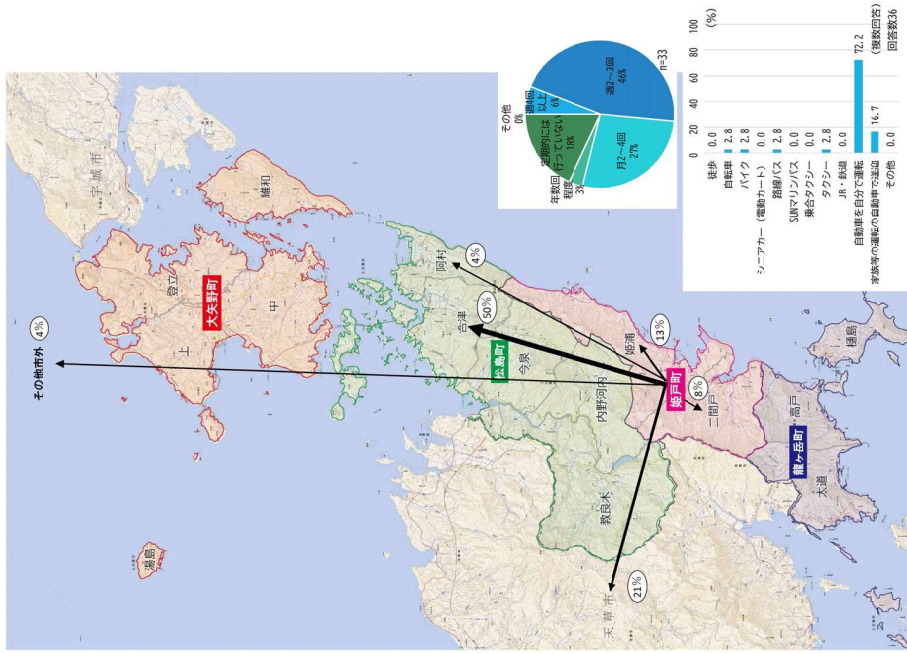


図 各地域の買い物物特性（1/2）

資料：住民アンケート調査結果（令和4（2022）年）



c. 姫戸町住民の買い物特性



d. 龍ヶ岳町住民の買い物特性

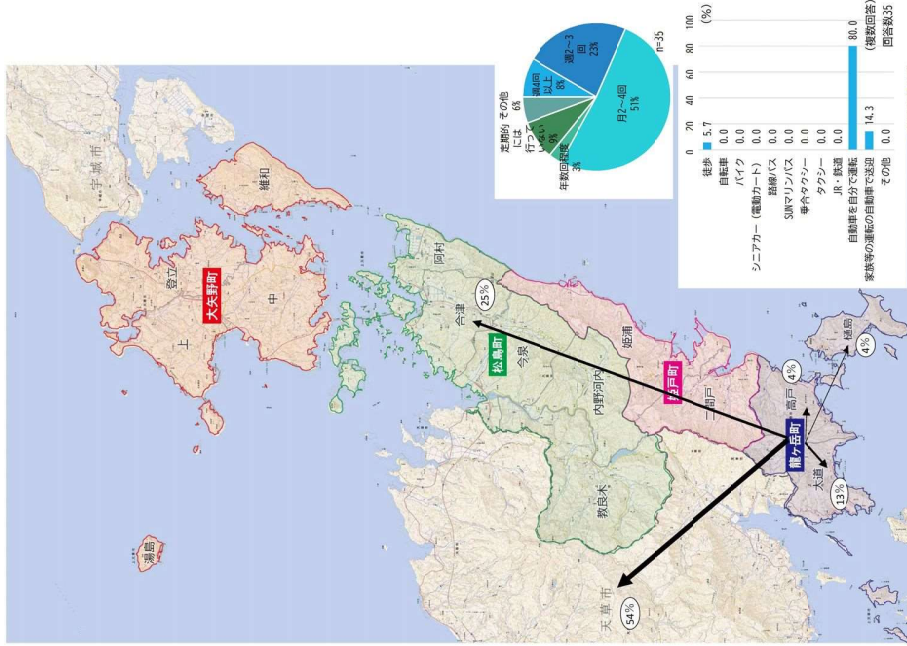


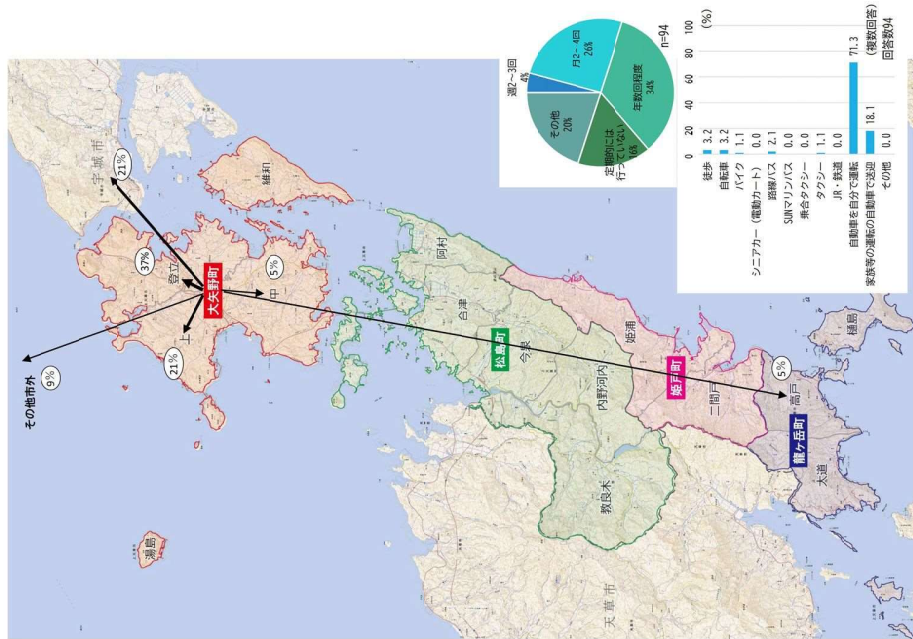
図 各地域の買い物特性 (2/2)

資料：住民アンケート調査結果 (令和4 (2022) 年)

④ 地域ごとの流動（通院）

大矢野町では約6割、松島町では約5割が自地域内に通院しています。姫戸町では約8割、龍ヶ岳町では約7割が龍ヶ岳町へ通院しており、買い物流動とは異なり、自地域内の他、龍ヶ岳町への流動が多く見られます。通院頻度は、龍ヶ岳町でやや低い傾向にあります。移動手段は、自動車を中心とした移動が5〜7割と多いほか、送迎も2割程度となっています。また、姫戸町では路線バスを1割、龍ヶ岳町では乗合タクシーを約1割利用されています。

a. 大矢野町住民の通院特性



b. 松島町住民の通院特性

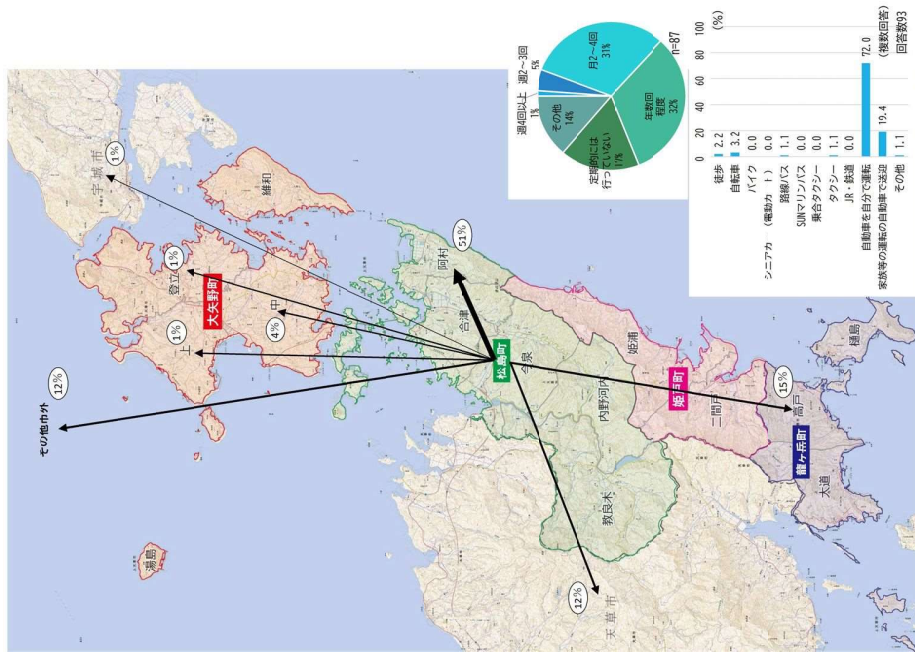
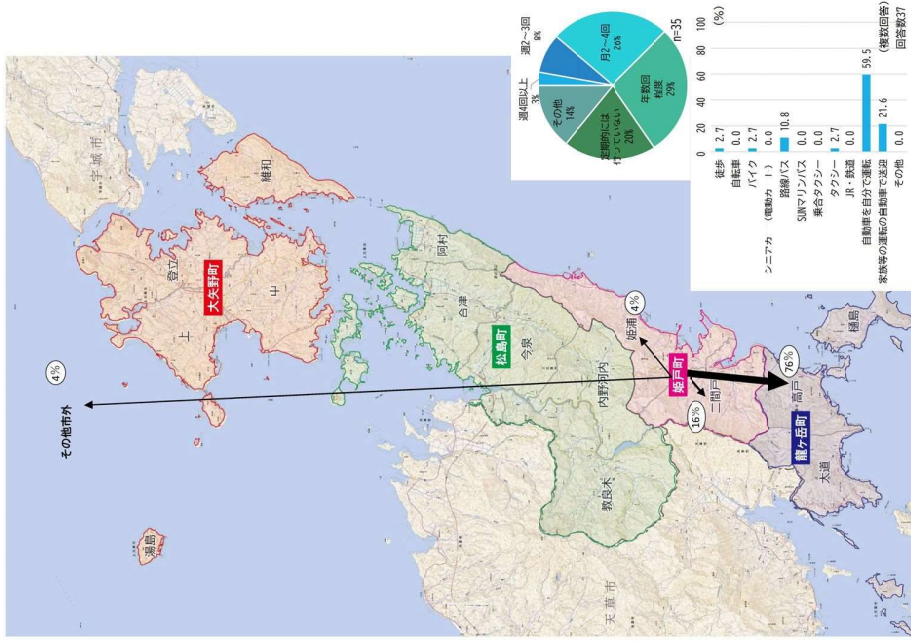


図 各地域の通院特性（1/2） 資料：住民アンケート調査結果（令和4（2022）年）



c. 姫戸町住民の通院特性



d. 龍ヶ岳町住民の通院特性

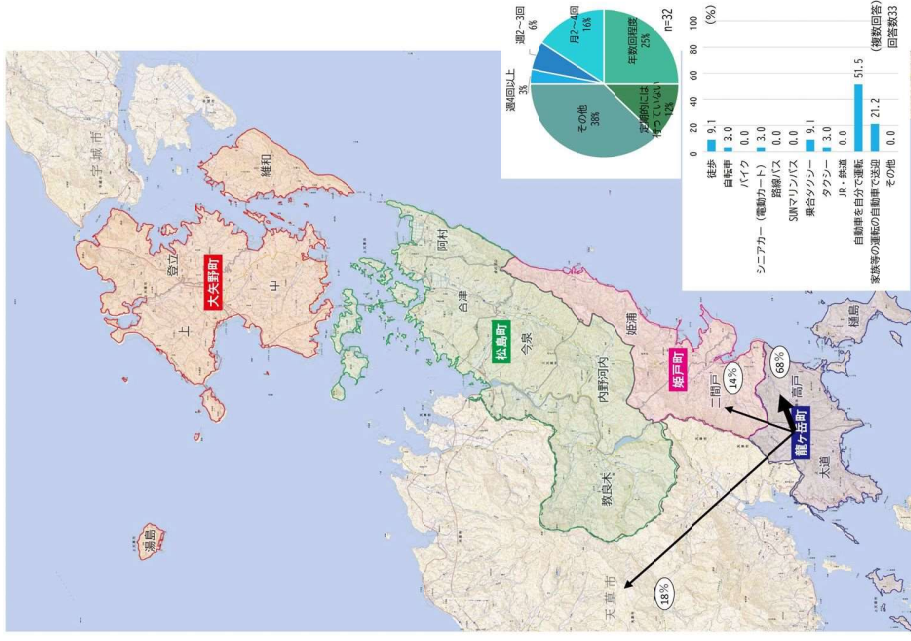


図 各地域の通院特性 (2/2) 資料：住民アンケート調査結果 (令和4 (2022) 年)

巻末 3 地域公共交通の現状整理

本市の公共交通網は、下図のとおり路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー及び定期船で構築されています。

- 路線バス 16 系統
- コミュニティバス 4 系統
- 乗合タクシー 8 地区
- 定期船 1 航路



図 上天草市の公共交通網



1) 公共交通のサービス水準・利用状況

(1) 路線バス・SUN まりんバス

① サービス水準

快速あまくさ号は、以前は1日当たり15往復の運行でしたが、令和2(2020)年5月から新型コロナウイルス感染症の影響により減便対策が実施されており、現在は1日当たり10往復の運行となっています。一方、「さんぱーる～三角病院」は1時間に1往復程度の運行がありますが、それ以外の系統は1日当たり2往復から6往復程度の運行となっています。

大矢野町内を循環するSUN まりんバスは、登立循環は1日当たり3便の運行となっているものの、上循環及び中循環は1日当たり8、9便の運行となっています。

表 路線バス・SUN まりんバスのサービス水準

NO	系統名	所要時間	最大運賃	天草発(平日)	桜町BT発(平日)	合計(平日)
1	快速あまくさ号(桜町バスターミナル～本渡)	160分	2340円	10	10	20

NO	系統名	所要時間	最大運賃	上り(平日)	下り(平日)	合計(平日)
1	さんぱーる～三角産交～三角病院	30分	540円	15	12	27
2	さんぱーる～三角病院(三角西港経由)※土日祝のみ	30分	430円	3	3	6
3	赤崎～さんぱーる(漁協前・上天草高校前経由)	60分	1250円	2	2	4
4	教良木(内野河内)～上天草高校前～さんぱーる	60分	900円	2	2	4
5	松島庁舎～さんぱーる	15分	440円	2	2	4
6	赤崎～松島	55分	1050円	2	3	5
7	赤崎～松島(内野河内・教良木)	65分	1050円	2	2	4
8	赤崎～教良木	43分	840円	1	1	2
9	松島～倉岳校前	75分	1250円	1	1	2
10	松島～本渡バスセンター(浦・下柿塚)	85分	1460円	6	5	11
11	松島～本渡バスセンター(大浦旧道・上津浦旧道)	65分	1060円	6	4	10
12	松島～本渡バスセンター(大浦新道・上津浦新道)	48分	1060円	0	2	2
13	教良木～本渡バスセンター(栖本方面)	55分	940円	3	4	7

地域循環コミュニティバス SUNまりんバス

NO	系統名	所要時間	最大運賃	上り(平日)	下り(平日)	合計(平日)
1	上循環(野釜経由)	46分	160円	4	4	8
2	中循環(柳経由)	34分		2	4	6
3	中循環(瀬高・柳経由)	43分		1	2	3
4	登立循環(治郎田経由)	25分		2	1	3

②利用状況

快速あまくさ号は、新型コロナウイルス感染症の影響による減便により、利用者数は減少しましたが、1便当たりの利用者数は一定数を維持しています。

その他系統は、毎年、運行見直しを行い実車走行距離が減少しており、これに伴い利用者数も年々減少しています。SUNまりんバスは、1日当たりの運行回数の変更を行い、実車走行距離が微増している一方で、年間利用者数は減少傾向にあります。

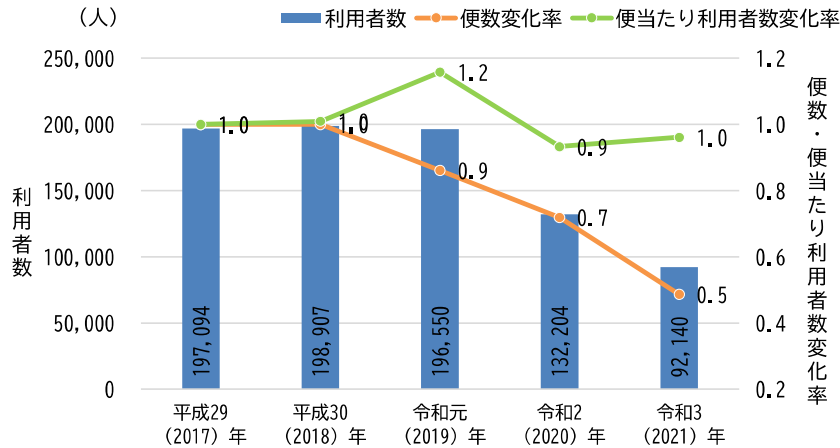


図 快速あまくさ号の利用者数と運行便数・便当たり利用者数の変化（10月～9月で年集計）

資料：運行事業者データ

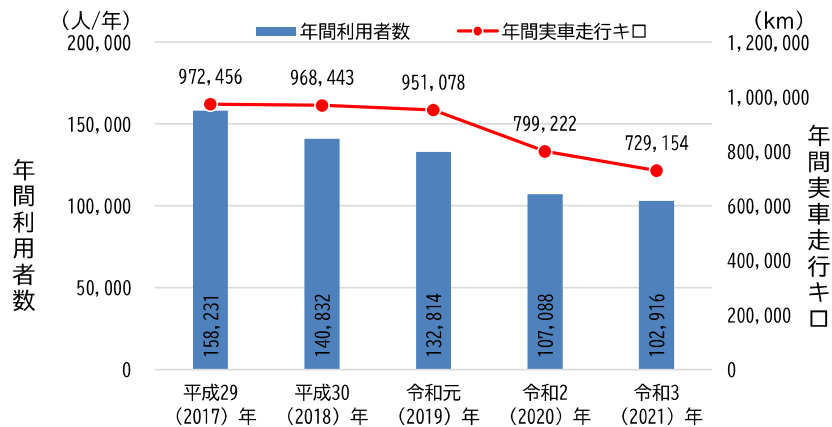


図 路線バスの利用者数と実車走行距離の推移（10月～9月で年集計）

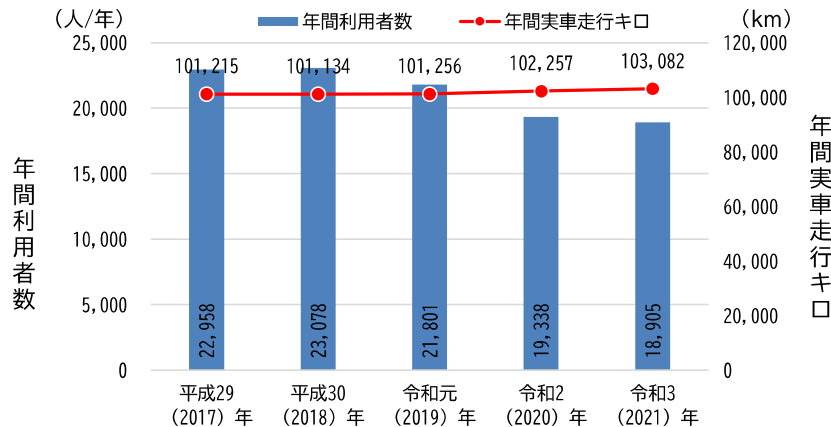


図 SUNまりんバス（コミュニティバス）の利用者数と実車走行距離の推移（10月～9月で年集計）

資料：上天草市



(2) 乗合タクシー

① サービス水準

乗合タクシーは、事前予約制で、大矢野町の4地区では毎日4往復、松島町樋合地区では方面ごとに運行日を設定し1日当たり3、4往復、龍ヶ岳町の2地区では毎日3往復程度、樋島地区では平日のみで4往復程度の運行となっています。

表 乗合タクシーのサービス水準

運行地区		運行日	行き便数	帰り便数	片道運賃
大矢野町	維和A地区	毎日	4便	4便	500円
	維和B地区	毎日	4便	4便	500円
	長砂連・野米地区	毎日	4便	4便	300円
	白涛・東満地区	毎日	4便	4便	200円/300円
松島町	樋合地区(大矢野方面)	月・水・金	3便	3便	200円/500円
	樋合地区(松島方面)	火・木	4便	4便	200円/400円
龍ヶ岳町	夏・唐地区	毎日	2便	4便	400円
	大作山地区	毎日	3便	3便	500円
	樋島地区	平日のみ	4便	5便	A地区300円/400円 B地区200円/300円

② 利用状況

各地区の利用状況は、大矢野町では長砂連・野米地区での利用が多く、やや増加傾向にあり1日当たり10人程度利用されています。一方で、白涛・東満地区は減少傾向にあり、地区によって利用状況に差が生じています。

松島町又は龍ヶ岳町での運行地区のうち、平日のみ運行の樋島地区の利用は非常に多く、1日当たり15人程度の利用がある一方で、樋合地区や大作山地区は非常に利用が少ない結果となっています。

1台当たりの利用者数も、多くの地区で2.0人未満となっており、乗合利用がなされていない状況が伺えます。一方で、利用者数の多い樋島地区では、1台当たり2.5人と乗合利用が促進されています。

収支率は、多くの地区が令和元(2019)年度以降に減少傾向となり、令和3(2021)年度は、全体で29%となっています。

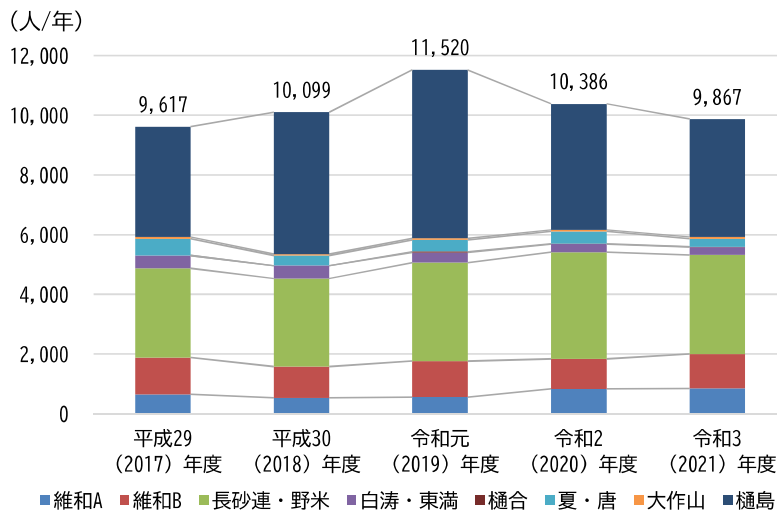


図 乗合タクシーの地区別利用者数の推移

資料：上天草市

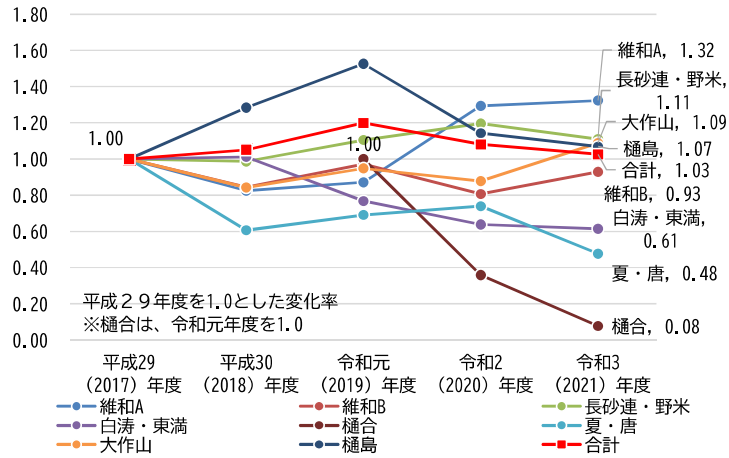


図 乗合タクシーの地区別利用者数の変化状況

資料：上天草市

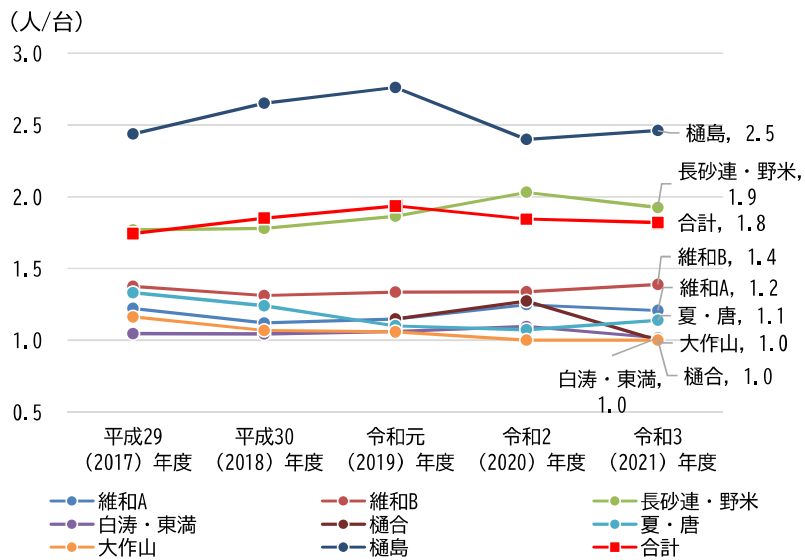


図 乗合タクシーの地区別の1台運行当たりの利用者数の推移

資料：上天草市

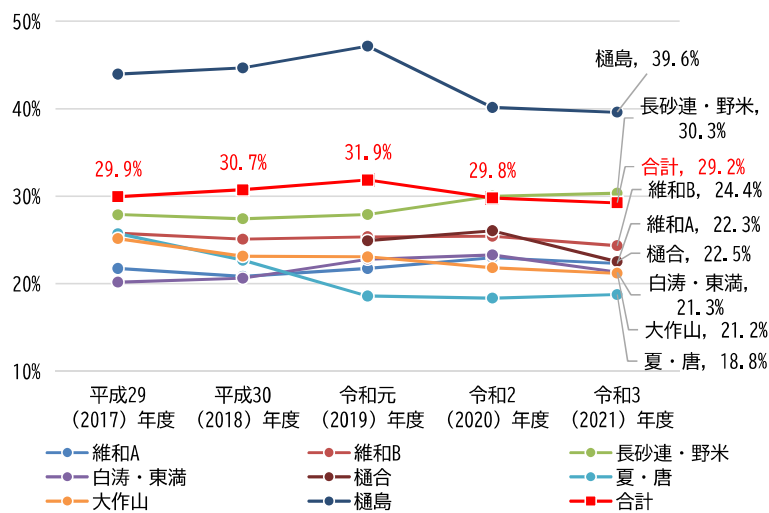


図 乗合タクシーの地区別の収支率の推移

資料：上天草市



(3) タクシー

本市には、タクシー事業者が6者います。その内訳として、大矢野町に3者、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町の各町にそれぞれ1者おり、地域住民の移動や観光客の移動を担っています。

各事業者においては、3台から5台程度の小型車両を保有しており、ジャンボタクシーを保有しているものも2者います。輸送人員及び輸送距離は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前から減少傾向にありましたが、令和2（2020）年以降輸送人員が急激に減少しています。

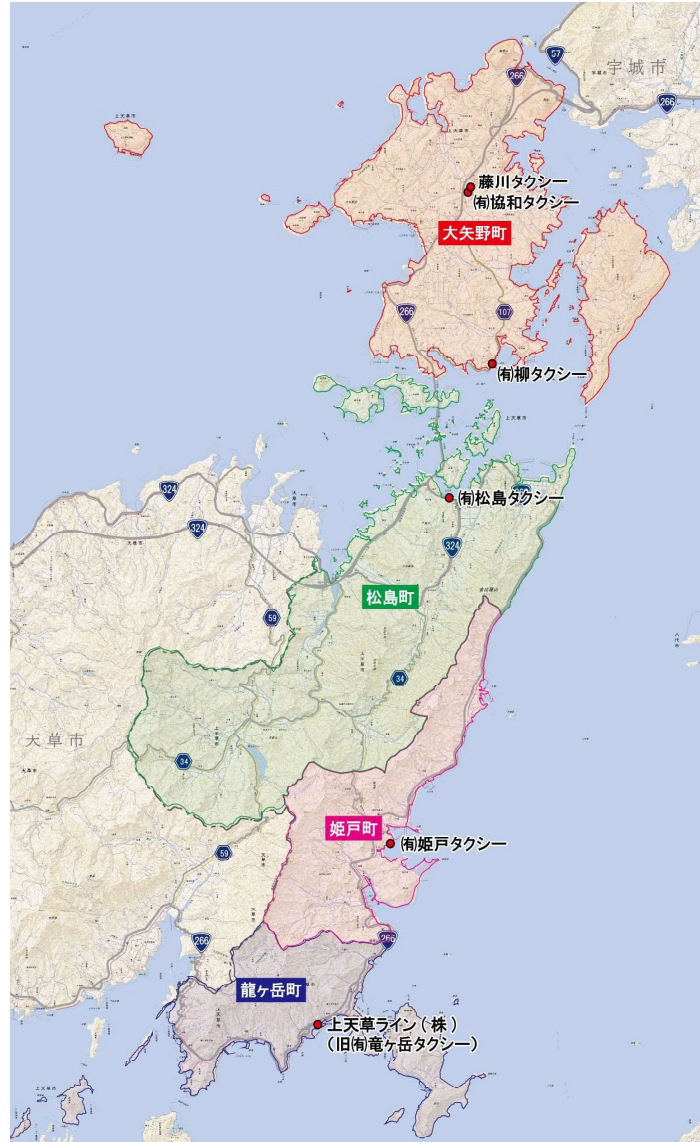


図 タクシー事業者の所在地

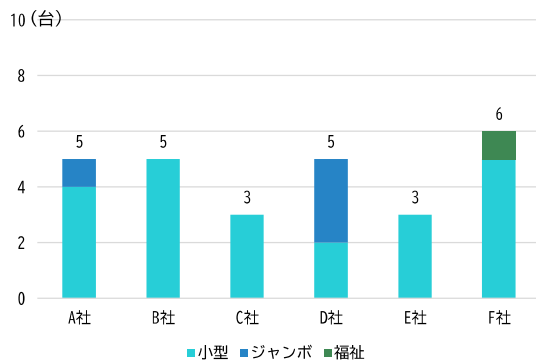


図 タクシー事業者ごとの車両保有台数

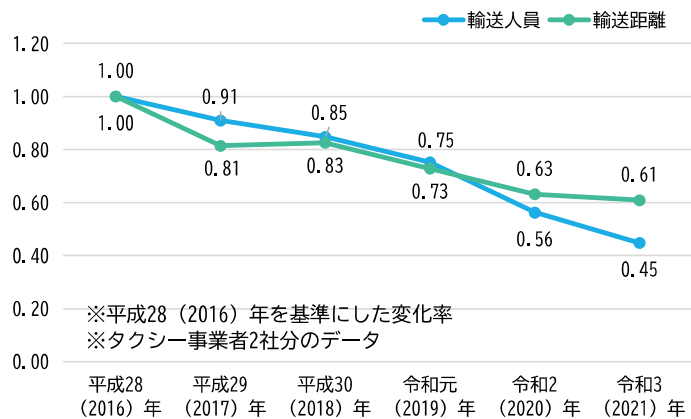


図 タクシー事業の輸送人員と輸送距離の変化

資料：ヒアリング調査

(4) 航路

① サービス水準

「湯島～江樋戸航路」は1日当たり5往復、「三角～松島航路」は観光列車「A列車で行こう」の運行と合わせて1日当たり3往復運航されています。「御所浦～棚底航路」は1日当たり5往復、「御所浦～大道航路」は1日当たり2往復運航されています。

表 各航路の主なサービス水準

種別	事業者	出発地	到着地	運行便数	片道運賃	所要時間
湯島～江樋戸航路	(有)湯島商船	湯島港	江樋戸港	5便	600円	30分
		江樋戸港	湯島港	5便	600円	30分
三角～松島航路	(株)シークルーズ	三角港	松島港(前島)	3便	1000円	20分
		松島港(前島)	三角港	3便	1000円	20分
御所浦～棚底航路 ～大道航路	共同フェリー(株)	棚底港	御所浦港	5便	600円	40分
		御所浦港	棚底港	5便	600円	45分
		大道港	御所浦港	2便	400円	45分
		御所浦港	大道港	2便	400円	45分

② 利用状況

「湯島～江樋戸航路」の利用者数は、一般旅客数が増加傾向にあり、令和3(2021)年は平成29(2017)年と比較して約1.5倍に増加しています。

通勤・通学利用者数は、やや減少傾向にありましたが、令和3(2021)年は増加傾向に転じています。

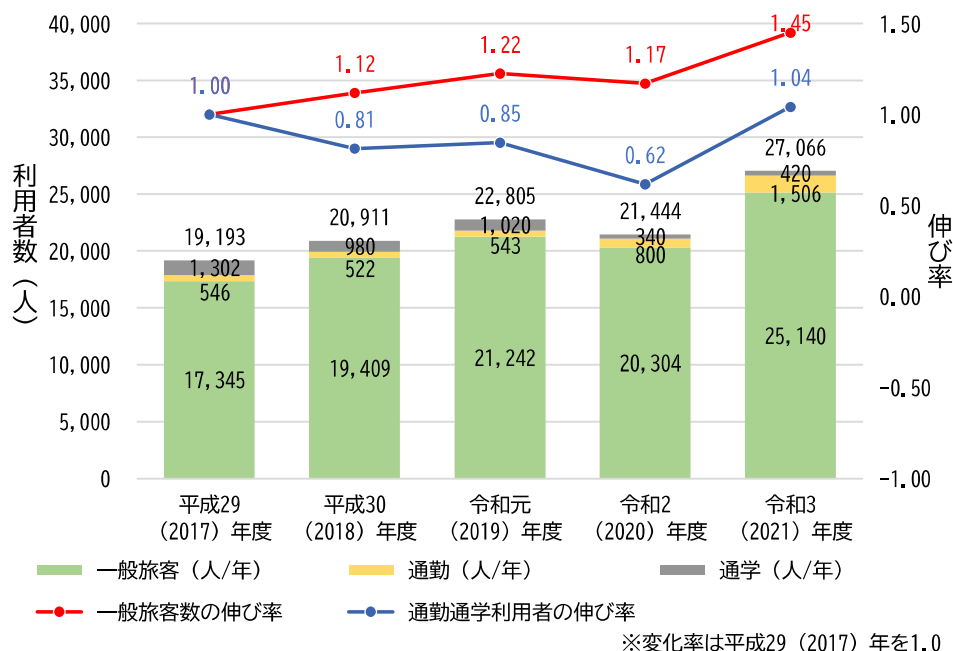


図 「湯島～江樋戸航路」の利用者数(一般、通勤、通学別)の推移(10月～9月で年集計)

資料：上天草市



また、「三角～松島航路」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、運航本数を減らし、運休月を設けるなどの対応がとられており、令和2（2020）年以降大幅に減少しています。

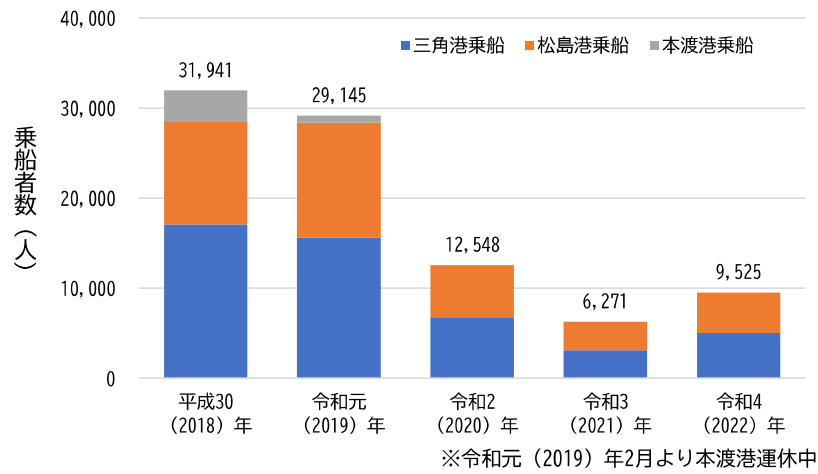


図 「三角～松島航路」の利用者数の推移（10月～9月で年集計）

資料：運航事業者

2) 運行に係る収支と行政負担額

(1) 路線バス・SUNまりんバス

路線バスは、運行見直しを行うことで、令和元（2019）年以降、経常収入も利用者数の減少により減少傾向にあるものの、経常費用が抑えられ、本市（一部県支出金を含む。）が負担する経常欠損額は減少していますが、年間約166百万円（本市分のみで89百万円）（令和3（2021）年実績）負担しています。

SUNまりんバスは、実車走行距離がやや増加しているほか、1km当たりの輸送単価も上昇していることから、経常費用が増加している一方で、利用者数はやや減少傾向にあるため、経常欠損額が増加傾向にあり、年間2,600万円（令和3（2021）年実績）支出しています。

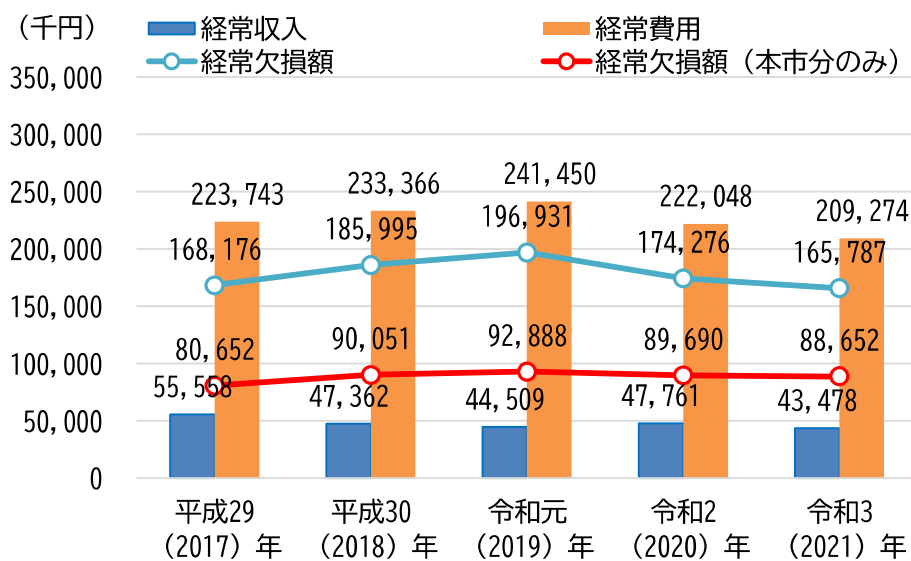


図 路線バスの収入・費用・欠損額の推移

資料：上天草市

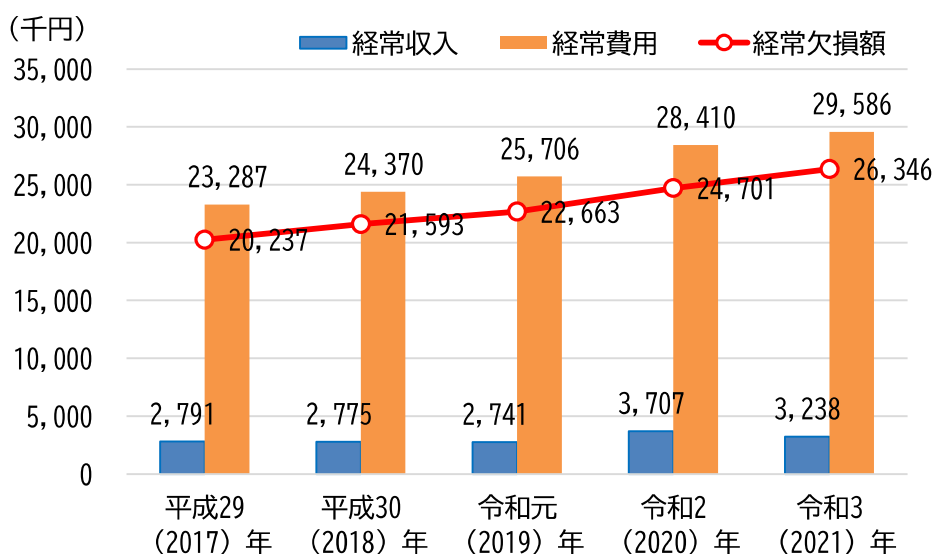


図 SUNまりんバス（コミュニティバス）の収入・費用・欠損額の推移

資料：上天草市



(2) 乗合タクシー

乗合タクシーは、8 地区合わせて年間約 740 万円（令和 3（2021）年度実績）支出しています。地区ごとの市負担額は、運行頻度や距離などのよって差があり、利用者数の多い長砂連・野米や樋島の割合がやや高くなっています。

一方で、利用者数 1 人当たりの市負担額は、大作山地区で最も高く、約 1,900 円となっています。利用者数が多く乗合利用が促進されている樋島地区は 1 人当たり 415 円の支出となっています。

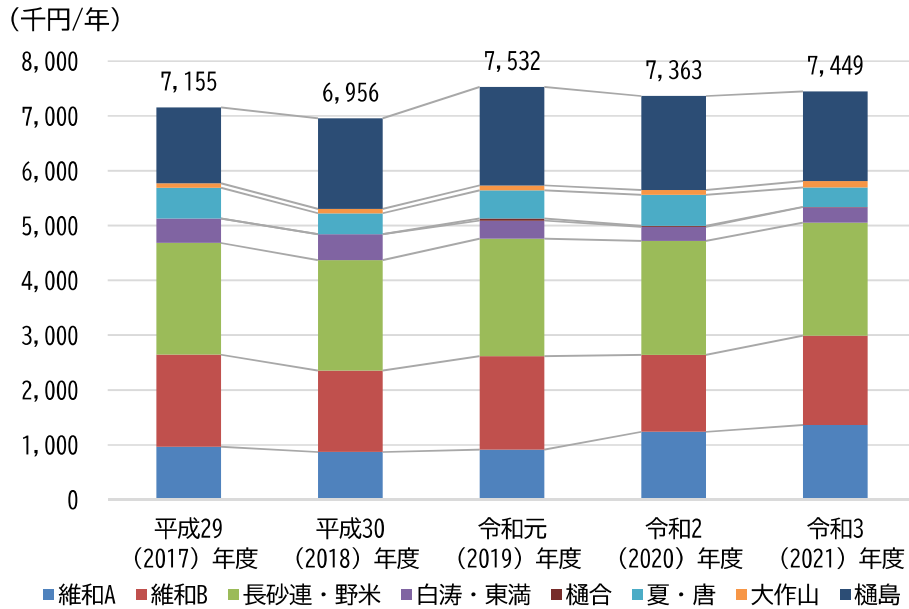


図 乗合タクシーの運行に係る市負担額の推移

資料：上天草市

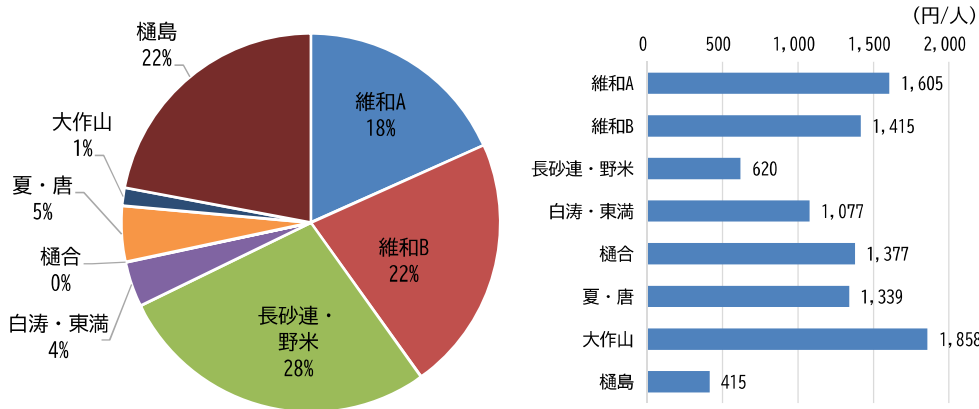


図 乗合タクシーの運行に係る市負担額の地区別割合 (令和 3 (2021) 年度)

図 乗合タクシー利用 1 人当たりの市負担額 (令和 3 (2021) 年度)

資料：上天草市

(3) 航路

本市は、「湯島～江樋戸航路」に年間約 182 万円（令和 3（2021）年度実績）（うち半額程度を県が補助）を助成しています。

「湯島～江樋戸航路」においては、本市が令和 2（2020）年の下半期頃から島民を対象に運賃割引事業を実施したこともあり、利用者が増加し、収益が増え、市助成金は減少傾向となっています。

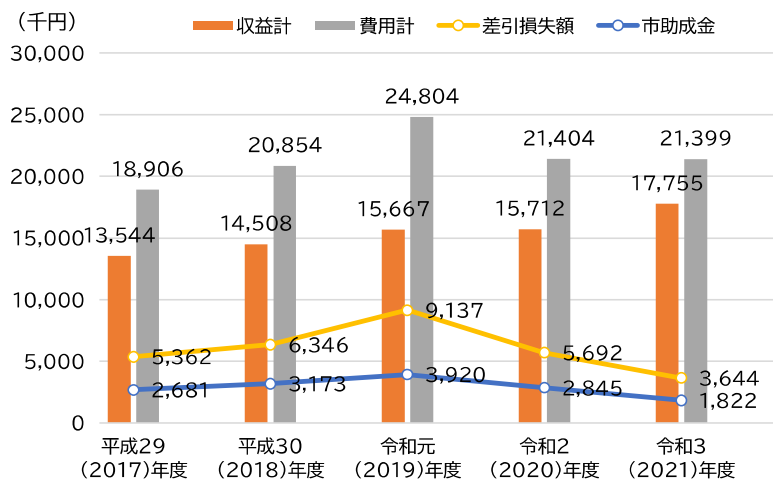


図 「湯島～江樋戸航路」の収益・費用・損失額・市助成金の推移

資料：上天草市

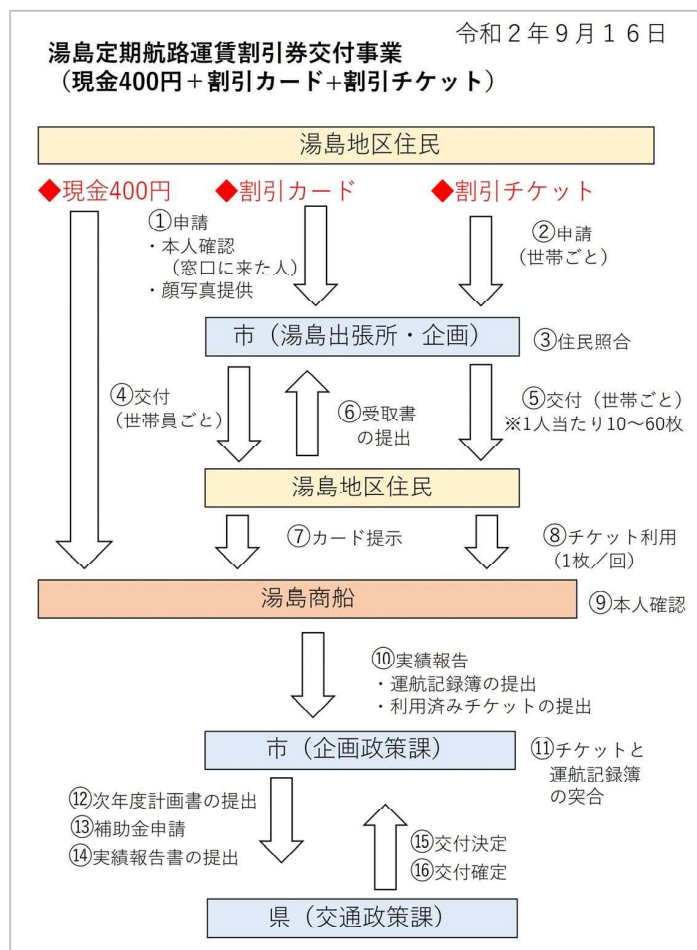


図 湯島定期航路運賃割引券交付事業の概要

資料：上天草市



3) その他移動サービス資源

(1) スクールバス

本市では、小学校5校、中学校2校を対象に9路線のスクールバスを運行しています。スクールバスの運行委託費は、年間1億円程度となっています。令和5(2023)年度からは、維和中学校が大矢野中学校に統廃合されることにより、新たにスクールバスが導入されますので、委託費用の増加が見込まれます。

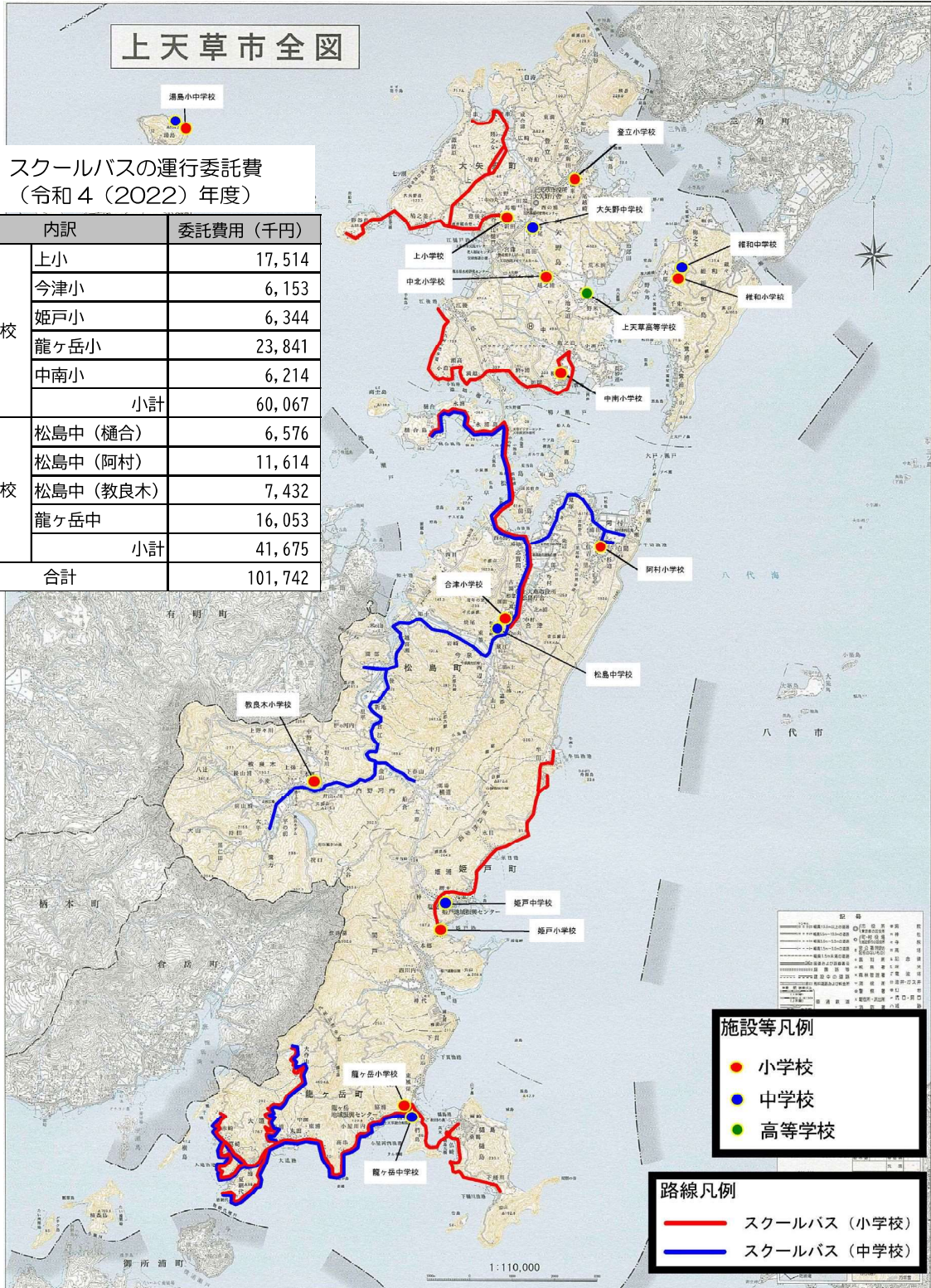


表 スクールバスの運行委託費
(令和4(2022)年度)

内訳		委託費用(千円)
小学校	上小	17,514
	今津小	6,153
	姫戸小	6,344
	龍ヶ岳小	23,841
	中南小	6,214
	小計	60,067
中学校	松島中(樋合)	6,576
	松島中(阿村)	11,614
	松島中(教良木)	7,432
	龍ヶ岳中	16,053
	小計	41,675
合計		101,742

図 スクールバスの運行ルート(令和4(2022)年度)

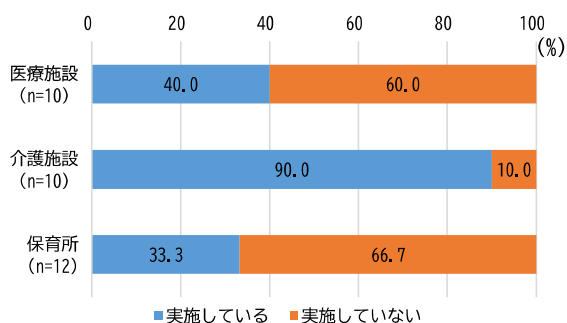
(2) 医療、福祉等

本市では、3、4割の医療施設及び保育所、9割の介護施設が送迎サービスを実施されています。多くの施設が直営で送迎サービスを実施していますが、上天草市シルバー人材センターへ委託している施設もあります。送迎サービスの多くは、軽自動車を含む乗用車や中型車を使用されており、1施設当たりの使用台数に大小はありますが、合計で約70台にのびります。

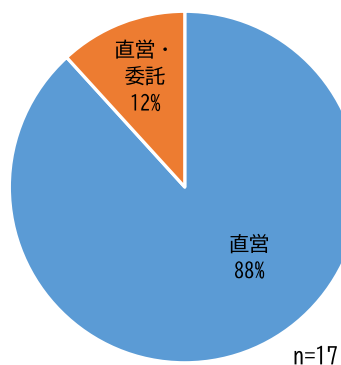
運行時間は、午前8時30分前後の時間帯でのお迎えと、医療施設は正午前、介護施設や保育所では午後4時頃が多い時間帯です。

運行エリアとしては、湯島を除く全域で送迎サービスが実施されています。

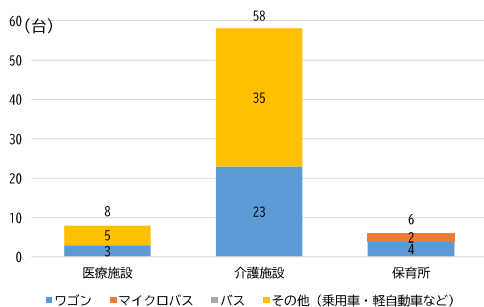
①送迎サービス実施有無



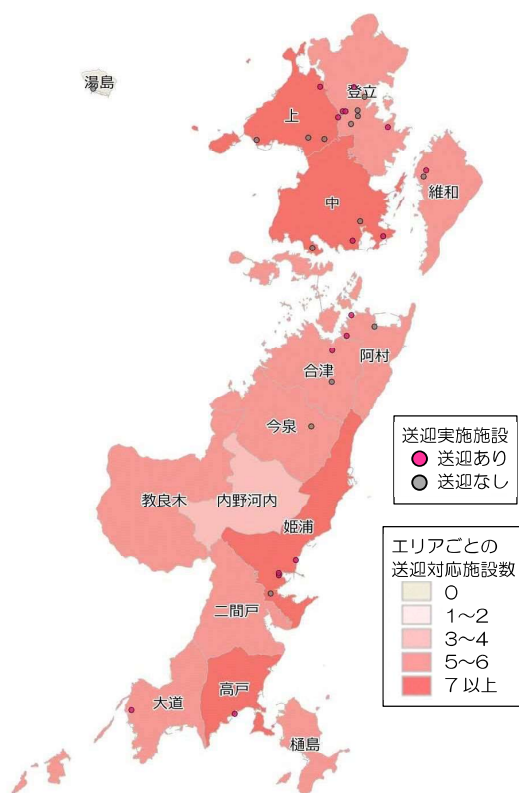
②送迎サービス実施方法



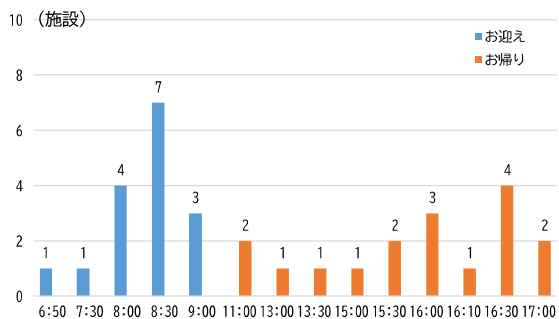
③送迎車両の保有台数



⑤送迎サービス実施状況



④送迎時間帯





巻末 4 上天草市地域公共交通網形成計画の達成状況の評価

上天草市地域公共交通網形成計画で掲げる施策・目標等の進捗状況等を把握するとともに、背景にある問題点・課題を明らかにし、本計画への反映方法などを検証します。

▼ 網形成計画における目標と数値指標

4-1. 計画の目標及び数値目標

先に示した「課題解決に向けた対応方針（基本方針）」を踏まえ、本計画の目標を以下の通り定めました。

さらには、目標の達成度を評価していくための数値目標について、上位関連計画なども踏まえつつ、設定しました。

各対応方針に対する計画の目標及び数値目標は以下の通りで、個別の数値目標に関しては次頁以降に示します。

方針①：持続可能な地域公共交通網の形成

目標①：地域公共交通の維持・確保

【計画の数値目標】

- ①指標：路線バスの年間利用者数・年間赤字補てん額
- ②指標：乗合タクシーの年間利用者数・収支率

方針②：ターゲットや役割分担を明確にした地域公共交通体系の構築

目標②：地域資源を活用した地域公共交通の導入

【計画の数値目標】

- ①指標：スクールバスと路線バス等が連携した新たな地域公共交通の導入地域数

目標③：新たな地域公共交通の導入

【計画の数値目標】

- ①指標：新たな地域公共交通の導入地域数

方針③：地域公共交通の利用促進及び需要創発

目標④：地域公共交通に対する市民の意識改善

【計画の数値目標】

- ①指標：地域公共交通座談会の実施件数
- ②指標：市役所職員を対象としたノーマイカーデーの実施件数

目標⑤：観光客などの地域公共交通の利便性向上

【計画の数値目標】

- ①指標：路線バスを活用した観光施策の件数

方針④：市民と一体となり持続可能な地域公共交通に関する仕組みの構築

目標⑥：地域公共交通に関する新たな仕組みづくり

【計画の数値目標】

- ①指標：地域と連携した利用促進の実施件数



【評価一覧】

目標①：地域公共交通の維持・確保					
数値目標	目標値 (令和 4 年度)	現況 (平成 29 年度)	評価時期	実績値	評価結果 (令和 3 年度時点)
				令和 3 年度	
①路線バスの年間利用者数	161,000 人	181,189 人	毎年	121,821 人 (141,880 人) 【未達成見込】	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年、ダイヤ改正や運行見直し、<u>利用促進の取組みを実施したものの、利用者数は低迷し未達成見込み。</u> • <u>赤字補てん額も、利用者数低迷と予測以上の輸送単価の上昇により未達成見込み。</u> ※利用者数については、新型コロナウイルス感染症による九州管内全体の減少率で補正した場合でも未達成。赤字補てん額については、計画策定時の予測による輸送単価を用いた場合も未達成。
路線バスの年間赤字補てん額	93,000 千円	100,889 千円	毎年	114,998 千円 (98,169 千円) 【未達成見込】	
②乗合タクシーの年間利用者数	8,890 人	(H28)8,890 人	毎年	9,867 人 【達成見込】	<ul style="list-style-type: none"> • 住民との意見交換会を受け、ダイヤ見直しや乗降所の追加、座談会やチラシの全戸配布、公共交通だよりの発行、CATV などで利用促進を実施。 • <u>利用者数は増加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少に転じたものの、現時点では達成見込み。</u> • <u>収支率は利用者増加に伴い上昇していたが、減少に転じたことや乗合率が上がらず、収支率が悪化し未達成見込み。</u>
乗合タクシーの収支率	33%	(H28)30%	毎年	29% 【未達成見込】	
目標②：地域資源を活用した地域公共交通の導入					
数値目標	目標値 (令和 4 年度)	現況 (平成 29 年度)	評価時期	実績値 令和 3 年度	評価結果 (令和 3 年度時点)
①スクールバスと路線バス等が連携した新たな地域公共交通の導入地域数	3 地域	0 地域	毎年	0 地域 【未達成見込】	<ul style="list-style-type: none"> • 教育委員会との協議を行っているが、<u>導入には至っておらず、現時点では未達成。</u>
目標③：新たな地域公共交通の導入					
数値目標	目標値 (令和 4 年度)	現況 (平成 29 年度)	評価時期	実績値	評価結果 (令和 3 年度時点)
①新たな地域公共交通の導入地域数	1 地域	0 地域	R4 年度	1 地域 【達成】	<ul style="list-style-type: none"> • 教良木河内地区における<u>自家用有償運送の実証運行を実施し達成。</u>実験の結果、タクシー事業者での対応が可能と判断。
目標④：地域公共交通に対する市民の意識改善					
数値目標	目標値 (令和 4 年度)	現況 (平成 29 年度)	評価時期	実績値 令和 3 年度	評価結果 (令和 3 年度時点)
①地域公共交通座談会の実施件数	4 件/年	0 件/年	毎年	未実施 【未達成見込】	<ul style="list-style-type: none"> • 令和元年度は実施したが、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、座談会の開催や<u>人を集めてのイベント実施が困難となり未達成。</u> • 令和元年度は実施したものの参加者は少なく、令和 2 年度以降は<u>新型コロナウイルス感染症拡大の影響や対応等もあり、実施できず未達成。</u>
②市役所職員を対象としたノーマイカーデーの実施件数	1 回/週	1 回/週	毎年	未実施 【未達成見込】	
目標⑤：観光客などの地域公共交通の利便性向上					
数値目標	目標値 (令和 4 年度)	現況 (平成 29 年度)	評価時期	実績値 令和 3 年度	評価結果 (令和 3 年度時点)
①路線バスを活用した観光施策の件数	3 件	1 件	毎年	継続 1 件 新規 1 件(実験) 【達成】	<ul style="list-style-type: none"> • あまくさ乗り放題きっぷが継続して実施されているほか、個人旅行向け旅行商品の販売、快速あまくさ号の車両へのラッピング、バス事業者による実証実験が実施され<u>達成。</u>
目標⑥：地域公共交通に関する新たな仕組みづくり					
数値目標	目標値 (令和 4 年度)	現況 (平成 29 年度)	評価時期	実績値 令和 3 年度	評価結果 (令和 3 年度時点)
①地域と連携した利用促進の実施件数	1 件/年	0 件/年	毎年	0 件/年 【未達成見込】	<ul style="list-style-type: none"> • 令和 2 年に、バスの乗り方教室を実施。それ以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、<u>未実施のため未達成。</u>